

津島市
福祉に関するアンケート調査
調査結果報告書

平成 27 年 3 月

津 島 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
III	団体及び事業者ヒアリングの結果	80
1	当事者団体ヒアリングの主な結果について	80
2	事業所ヒアリングの主な結果について	82

I 調査の概要

1 調査の目的

障がい者の生活実態、障がい福祉サービスに係る利用状況や利用意向、障がい者施策等への満足度などを把握・分析するためにアンケート調査を実施しました。

2 調査対象

身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者から無作為抽出

3 調査期間

平成 26 年 11 月 20 日～平成 26 年 12 月 1 日まで


4 調査方法

郵送による配布、回収

5 回収状況

	配布数	有効回収数	有効回収率
合計	1,500 通	730 通	48.7%

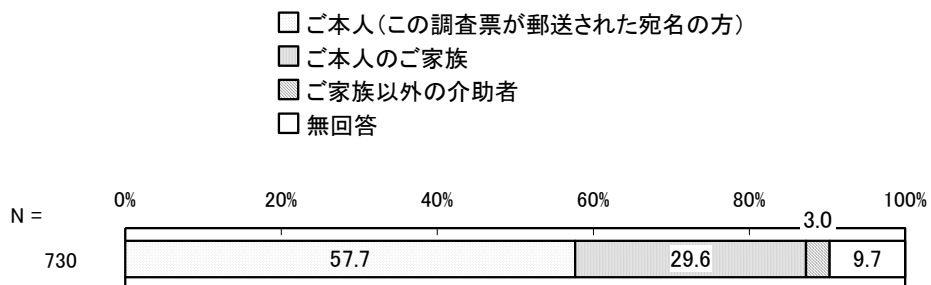
6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

II 調査結果

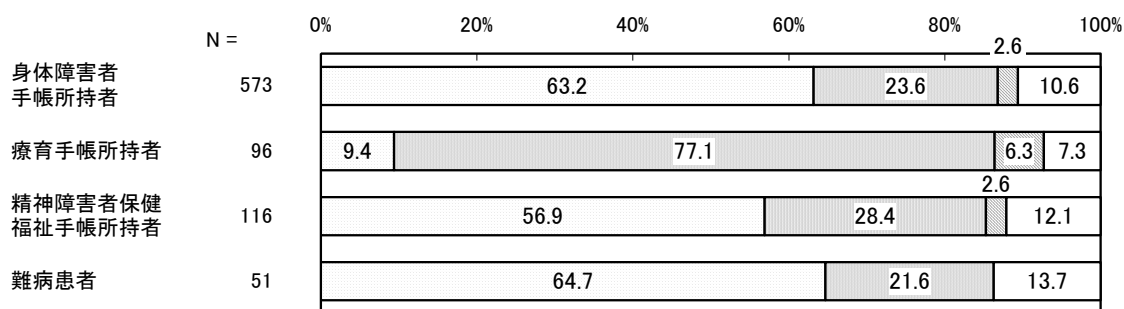
問1 お答えいただくのは、どなたですか。(〇は1つだけ)

「ご本人（この調査票が郵送された宛名の方）」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「ご本人のご家族」の割合が 29.6%となっています。



【障がい別】

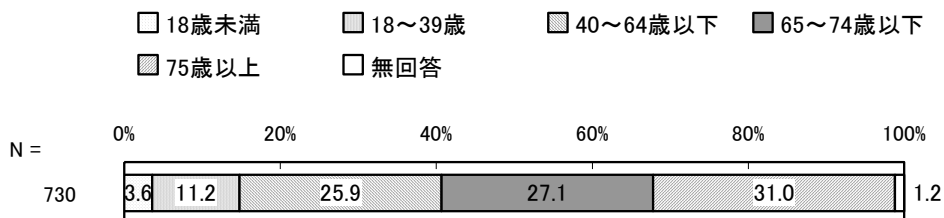
障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「ご本人のご家族」が高く、8割近くとなっています。



(1) あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

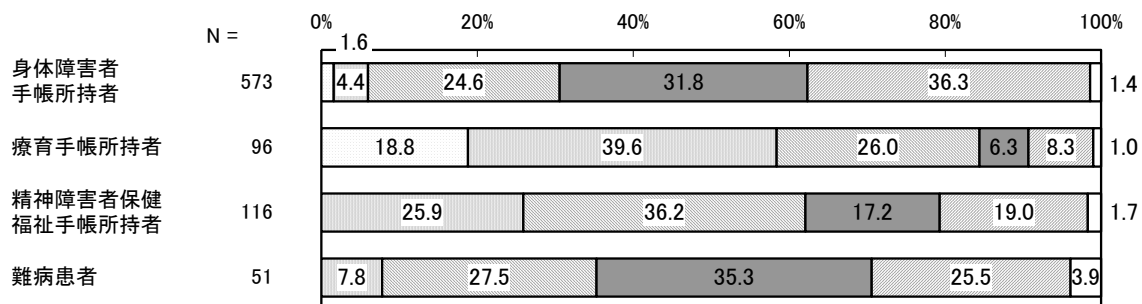
問2 あなたの年齢をお答えください。（平成26年10月1日現在）

「75歳以上」の割合が31.0%と最も高く、次いで「65～74歳以下」の割合が27.1%、「40～64歳以下」の割合が25.9%となっています。



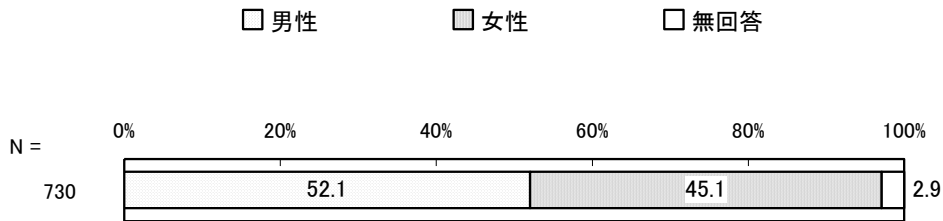
【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「75歳以上」が、療育手帳所持者で「18～39歳」が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「40～64歳以下」が高くなっています。



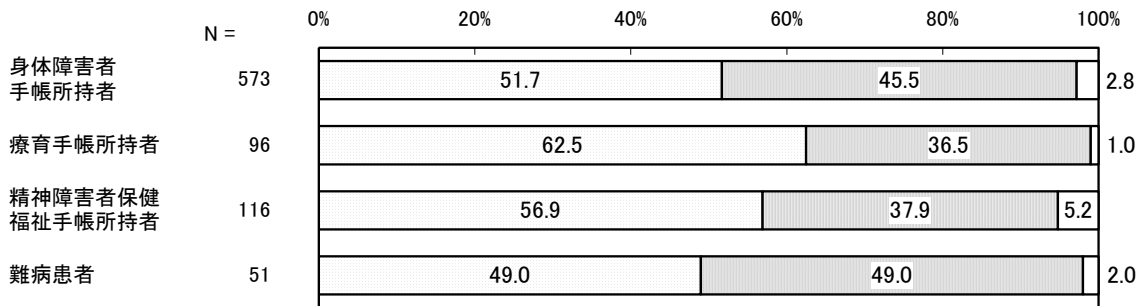
問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

「男性」の割合が52.1%、「女性」の割合が45.1%となっています。



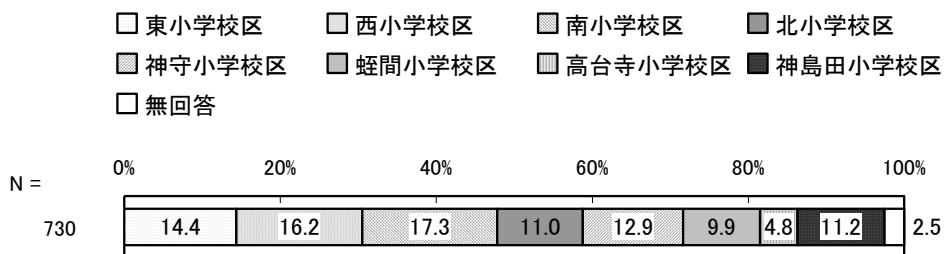
【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「男性」が高く、6割を超えています。



問4 あなたがお住まいの地域はどこですか。(〇は1つだけ)

「南小学校区」の割合が17.3%と最も高く、次いで「西小学校区」の割合が16.2%、「東小学校区」の割合が14.4%となっています。



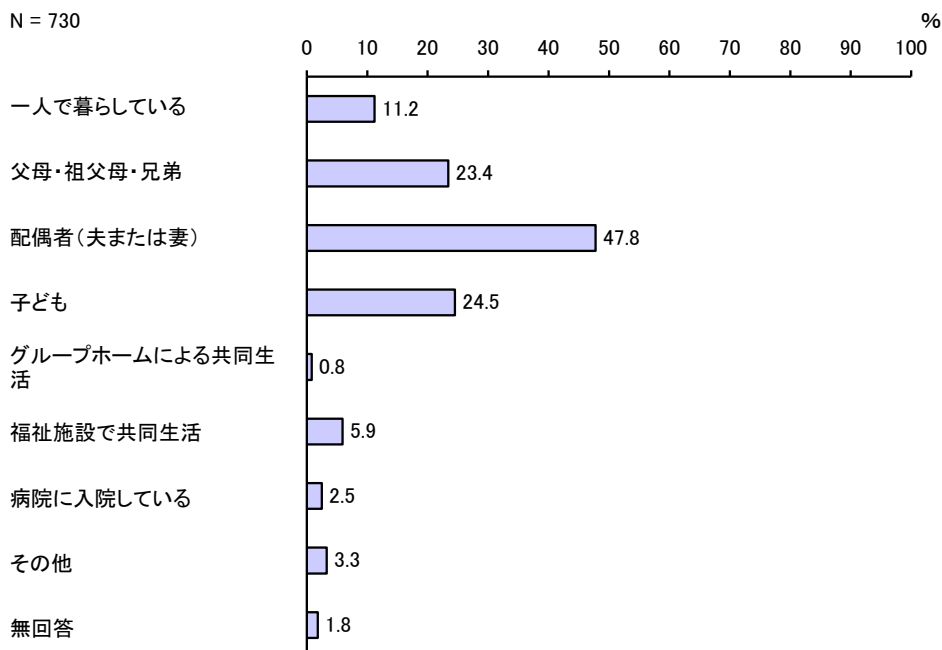
【障がい別】

障がい別でみると、大きな差異はみられません。



問5 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者（夫または妻）」の割合が47.8%と最も高く、次いで「子ども」の割合が24.5%、「父母・祖父母・兄弟」の割合が23.4%となっています。



【障がい別】

障がい別でみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「一人で暮らしている」が、療育手帳所持者で「父母・祖父母・兄弟」が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「病院に入院している」が、難病患者で「配偶者（夫または妻）」が高くなっています。

単位：%

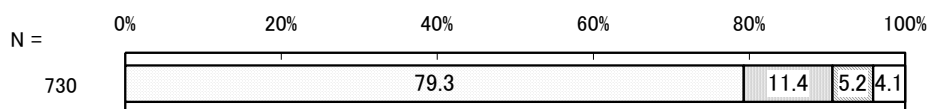
区分	有効回答数(件)	一人で暮らしている	父母・祖父母・兄弟	配偶者(夫または妻)	子ども	グループホームによる共同生活	福祉施設で共同生活	病院に入院している	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	573	13.1	12.9	56.4	28.4	0.3	6.1	1.9	3.3	2.1
療育手帳所持者	96	3.1	71.9	10.4	2.1	3.1	7.3	1.0	5.2	1.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	6.0	38.8	32.8	19.0	1.7	2.6	7.8	3.4	2.6
難病患者	51	5.9	19.6	64.7	33.3	2.0	3.9	-	-	2.0

問6 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩それぞれに○を1つ)

□一人できる □一部介助が必要 ■全部介助が必要 □無回答

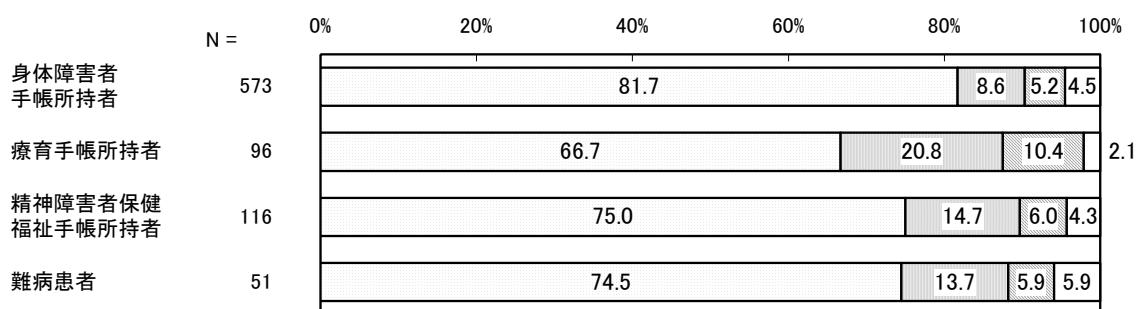
① 食事

「一人できる」の割合が79.3%と最も高く、次いで「一部介助が必要」の割合が11.4%となっています。



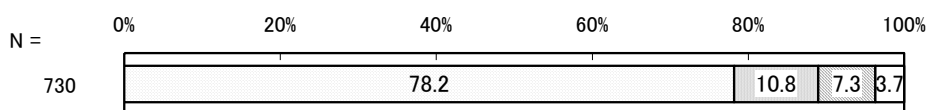
【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「一人できる」が高く、約8割となっています。また、療育手帳所持者で「一部介助が必要」が高く、約2割となっています。



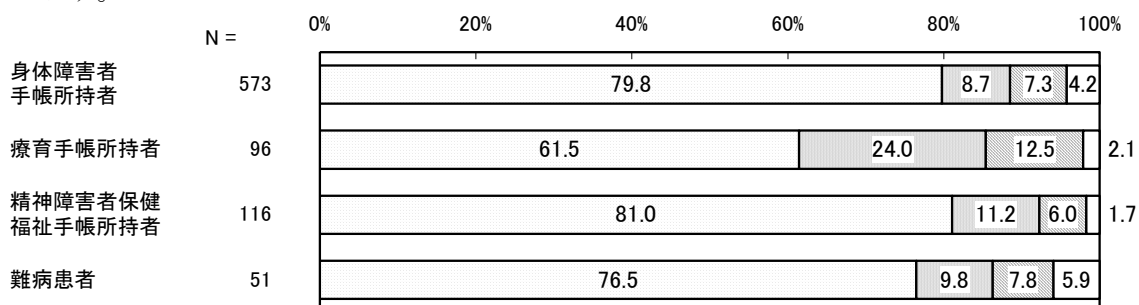
② トイレ

「一人できる」の割合が78.2%と最も高く、次いで「一部介助が必要」の割合が10.8%となっています。



【障がい別】

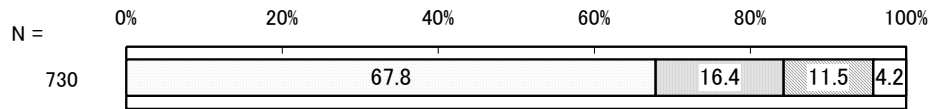
障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「一部介助が必要」が高く、2割半ばとなっています。



□ 一人でできる □ 一部介助が必要 ■ 全部介助が必要 □ 無回答

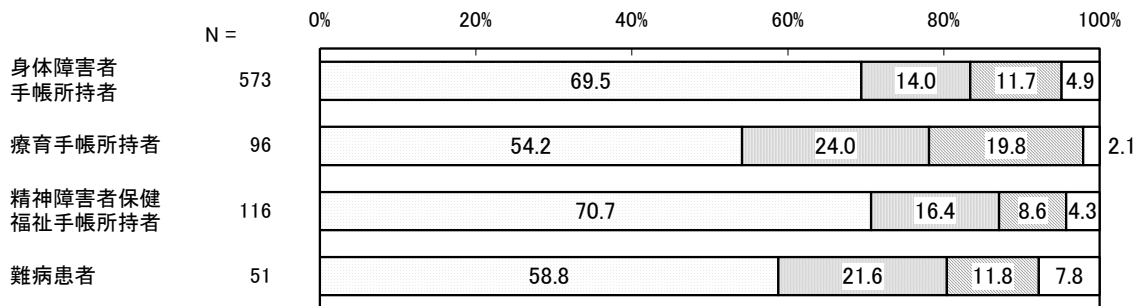
③ 入浴

「一人でできる」の割合が67.8%と最も高く、次いで「一部介助が必要」の割合が16.4%、「全部介助が必要」の割合が11.5%となっています。



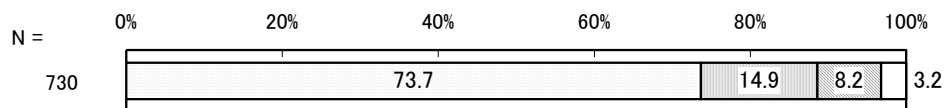
【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「全部介助が必要」が高く、約2割となっています。



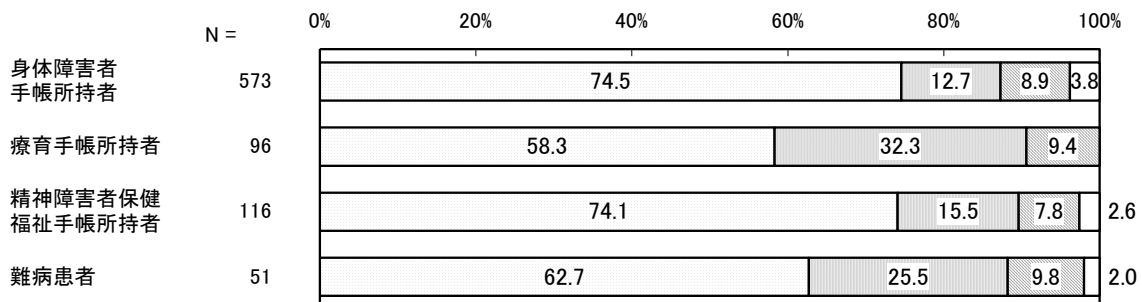
④ 衣服の着脱

「一人でできる」の割合が73.7%と最も高く、次いで「一部介助が必要」の割合が14.9%となっています。



【障がい別】

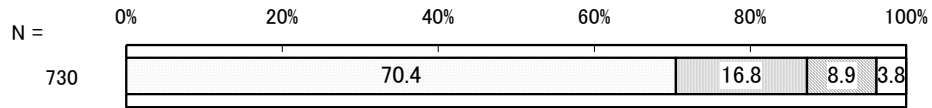
障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「一部介助が必要」が高く、3割を超えています。



□ 一人でできる □ 一部介助が必要 ■ 全部介助が必要 □ 無回答

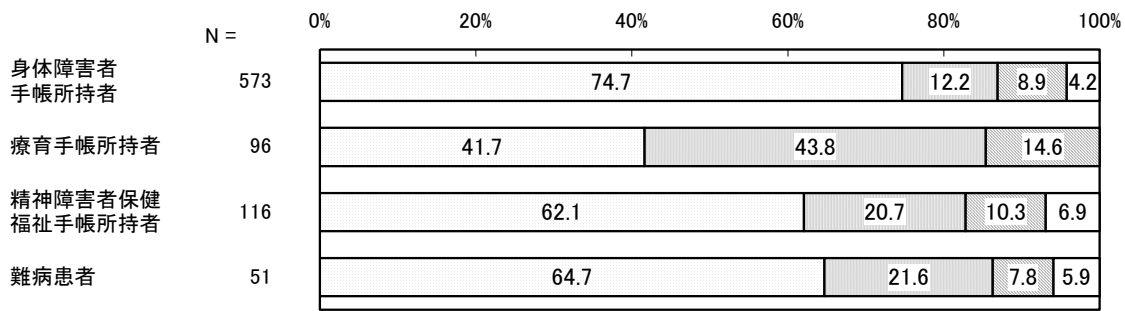
⑤ 身だしなみ

「一人で行ける」の割合が 70.4%と最も高く、次いで「一部介助が必要」の割合が 16.8%となっています。



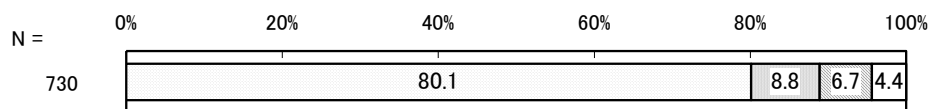
【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「一人で行ける」が高く、7割半ばとなっています。また、療育手帳所持者で「一部介助が必要」が高く、4割を超えています。



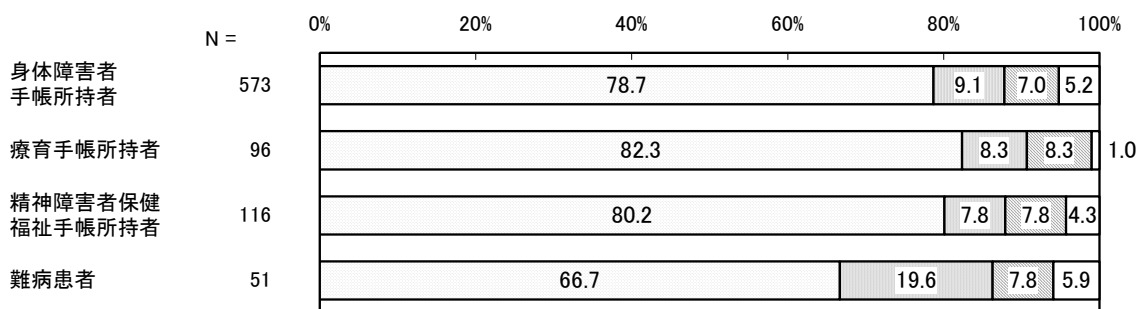
⑥ 家の中の移動

「一人で行ける」の割合が 80.1%と最も高くなっています。



【障がい別】

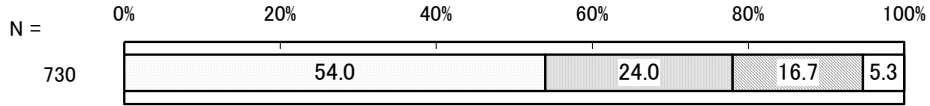
障がい別で見ると、他に比べ、難病患者で「一部介助が必要」が高く、約2割となっています。



□一人でできる □一部介助が必要 □全部介助が必要 □無回答

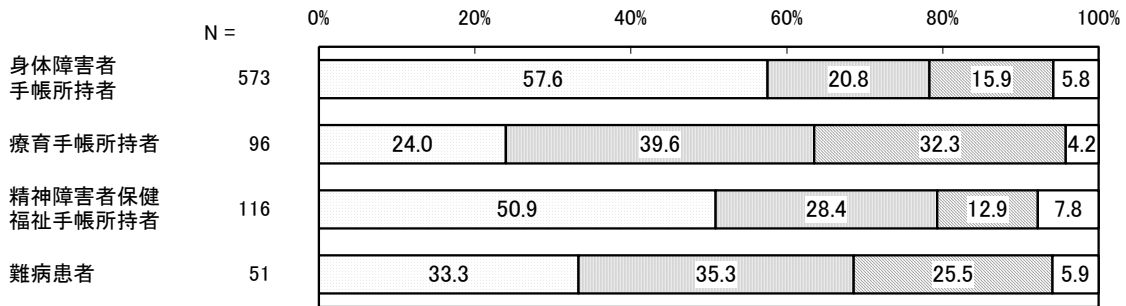
⑦ 外出

「一人でできる」の割合が54.0%と最も高く、次いで「一部介助が必要」の割合が24.0%、「全部介助が必要」の割合が16.7%となっています。



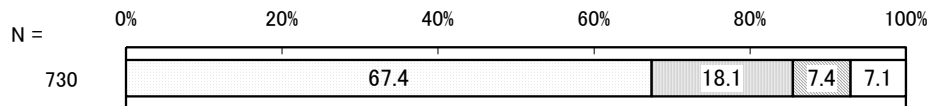
【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「一人でできる」が高く、6割近くとなっています。また、療育手帳所持者で「全部介助が必要」が高く、3割を超えています。



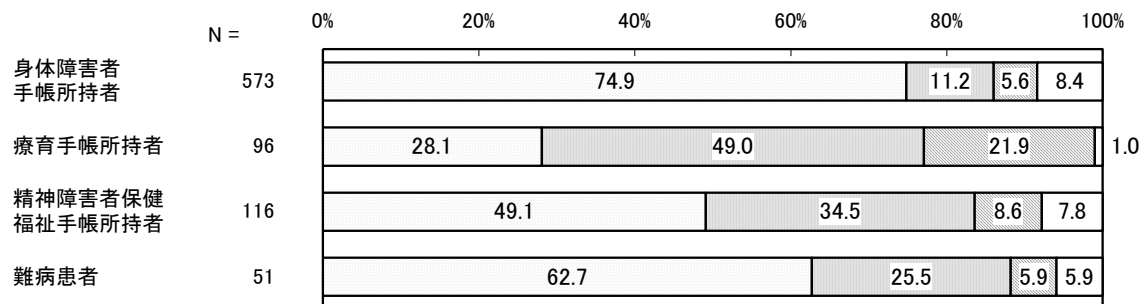
⑧ 家族以外の人との意思疎通

「一人でできる」の割合が67.4%と最も高く、次いで「一部介助が必要」の割合が18.1%となっています。



【障がい別】

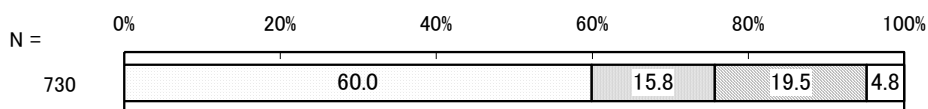
障がい別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「一人でできる」が、療育手帳所持者で「一部介助が必要」、「全部介助が必要」が高くなっています。



□ 一人でできる □ 一部介助が必要 ■ 全部介助が必要 □ 無回答

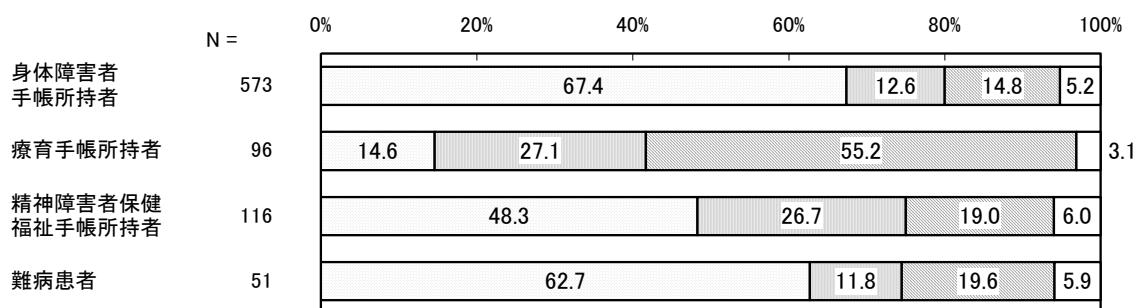
⑨ お金の管理

「一人でできる」の割合が60.0%と最も高く、次いで「全部介助が必要」の割合が19.5%、「一部介助が必要」の割合が15.8%となっています。



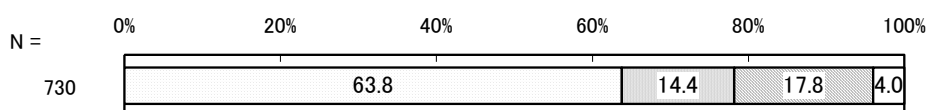
【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳所持者と難病患者で「一人でできる」が、療育手帳所持者で「全部介助が必要」が高くなっています。



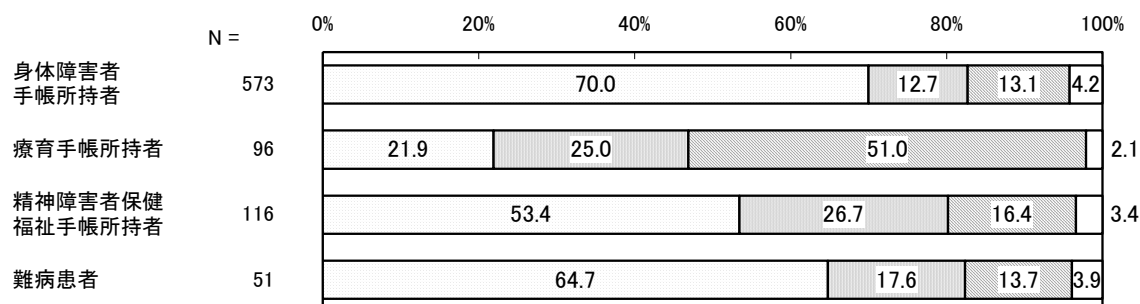
⑩ 薬の管理

「一人でできる」の割合が63.8%と最も高く、次いで「全部介助が必要」の割合が17.8%、「一部介助が必要」の割合が14.4%となっています。



【障がい別】

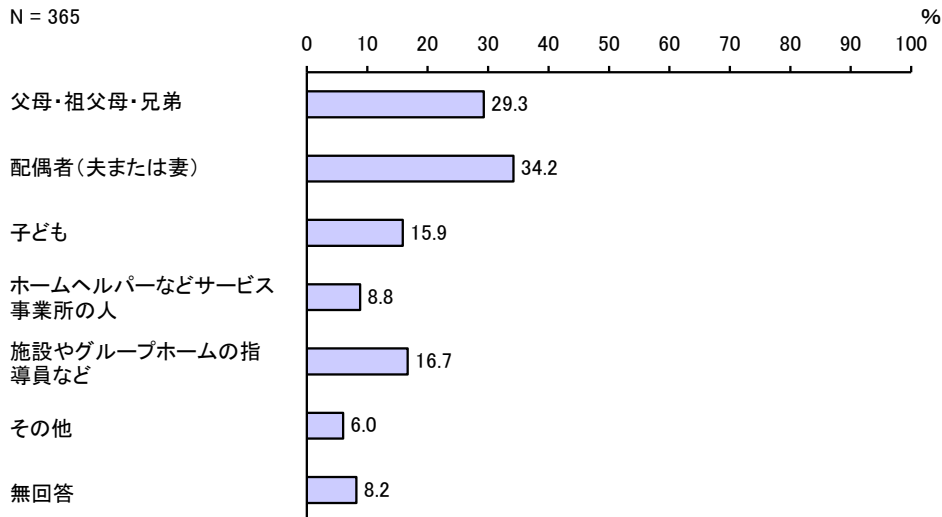
障がい別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「一人でできる」が高く、7割となっています。また、療育手帳所持者で「全部介助が必要」が高く、約5割となっています。



(問6で「一部介助が必要」又は「全部介助が必要」と答えた方)

問7 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者(夫または妻)」の割合が34.2%と最も高く、次いで「父母・祖父母・兄弟」の割合が29.3%、「施設やグループホームの指導員など」の割合が16.7%となっています。



【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「父母・祖父母・兄弟」が、難病患者で「配偶者(夫または妻)」、「子ども」が高くなっています。

単位：%

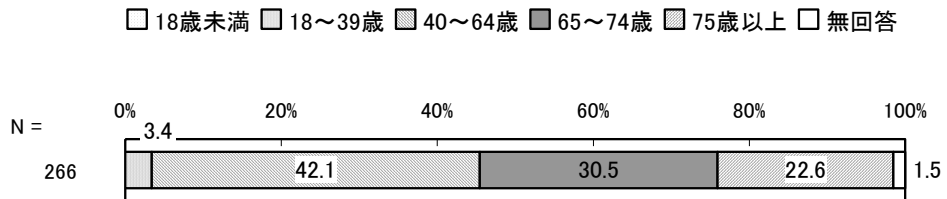
区分	有効回答数(件)	父母・祖父母・兄弟	配偶者(夫または妻)	子ども	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	施設やグループホームの指導員など	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	247	13.4	46.2	21.1	9.7	18.2	5.3	7.7
療育手帳所持者	82	68.3	8.5	-	7.3	17.1	2.4	9.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	74	41.9	27.0	8.1	5.4	14.9	12.2	6.8
難病患者	34	20.6	55.9	26.5	14.7	8.8	2.9	2.9

(問7で「父母・祖父母・兄弟」「配偶者(夫または妻)」「子ども」を答えた方)

問8 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

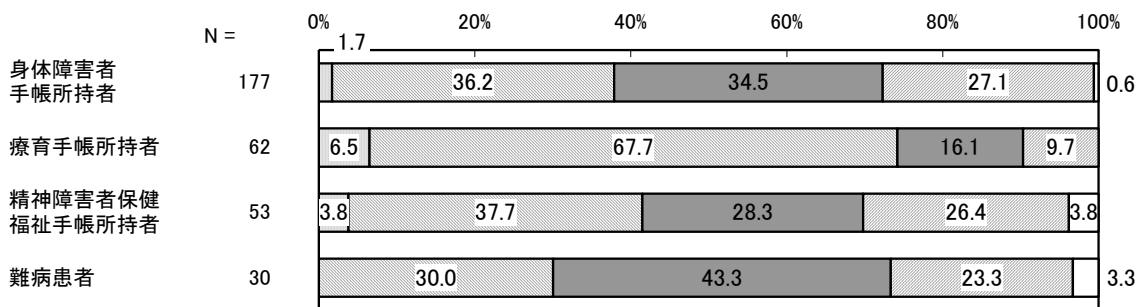
① 年齢(平成26年10月1日現在)

「40～64歳」の割合が42.1%と最も高く、次いで「65～74歳」の割合が30.5%、「75歳以上」の割合が22.6%となっています。



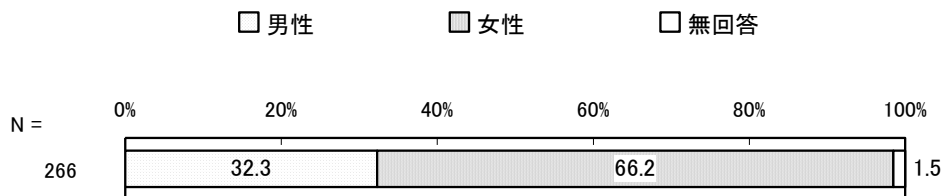
【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「40～64歳」が高く、7割近くとなっています。また、難病患者で「65～74歳」が高く、4割を超えています。



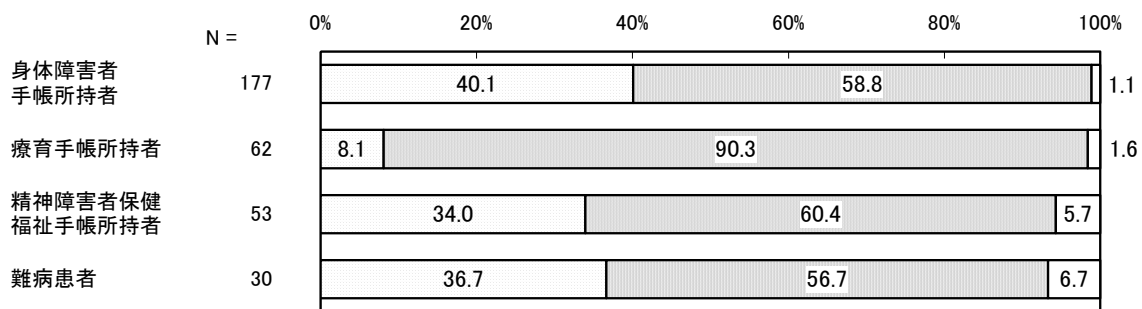
② 性別(○は1つだけ)

「男性」の割合が32.3%、「女性」の割合が66.2%となっています。



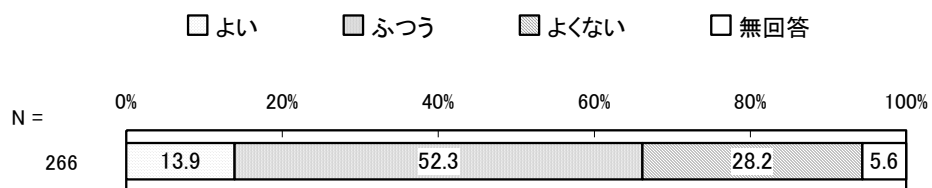
【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「女性」が高く、約9割となっています。



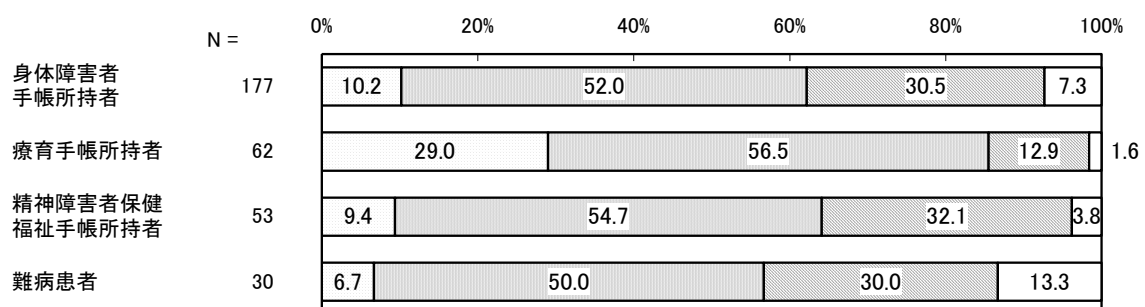
③ 健康状態 (○は1つだけ)

「ふつう」の割合が52.3%と最も高く、次いで「よくない」の割合が28.2%、「よい」の割合が13.9%となっています。



【障がい別】

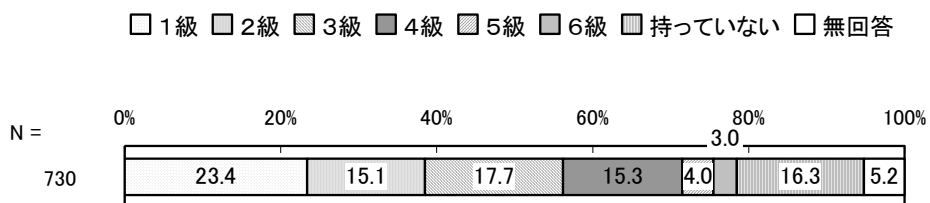
障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「よい」が高く、約3割となっています。



(2) あなたの障がいの状況について

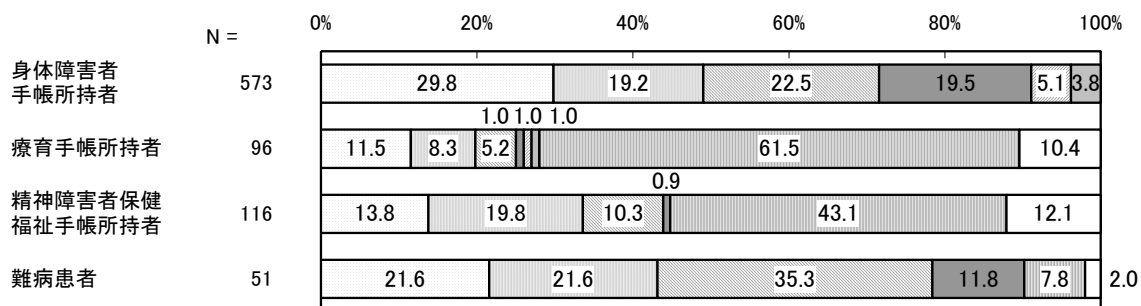
問9 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

「1級」の割合が23.4%と最も高く、次いで「3級」の割合が17.7%、「持っていない」の割合が16.3%となっています。



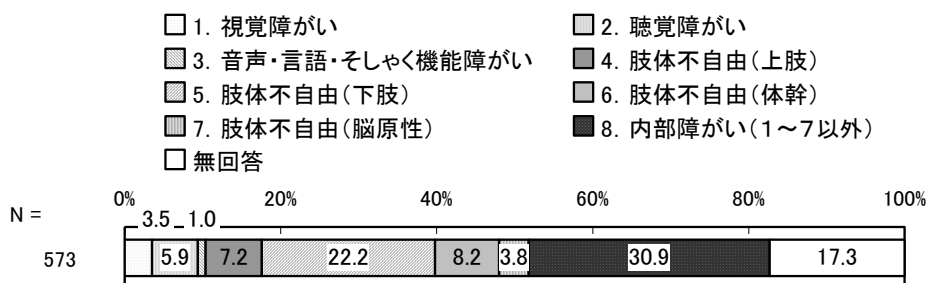
【障がい別】

障がい別でみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「1級」、「4級」が、療育手帳所持者で「持っていない」が、難病患者で「3級」が高くなっています。



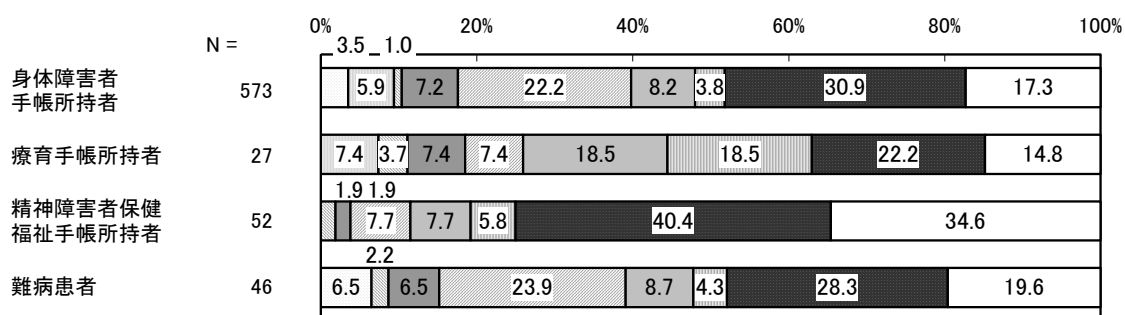
問 10 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。(複数の障がい認定を受けている場合は、等級が最も高いものに○をつけてください)

「内部障がい（1～7以外）」の割合が 30.9%と最も高く、次いで「肢体不自由（下肢）」の割合が 22.2%となっています。



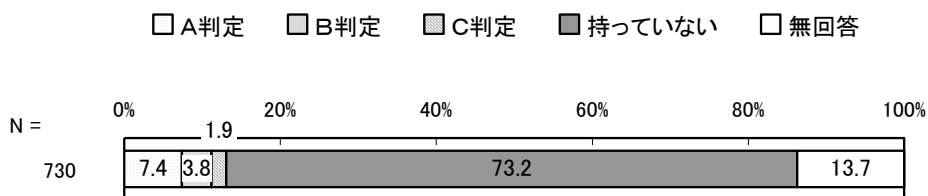
【障がい別】

障がい別でみると、他に比べ、療育手帳所持者で「肢体不自由（体幹）」、「肢体不自由（脳原性）」が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「内部障がい（1～7以外）」が高くなっています。



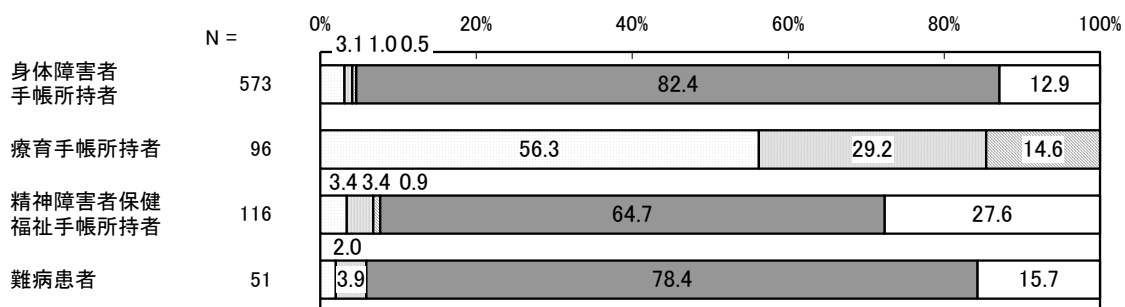
問 11 あなたは療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

「持っていない」の割合が73.2%と最も高くなっています。



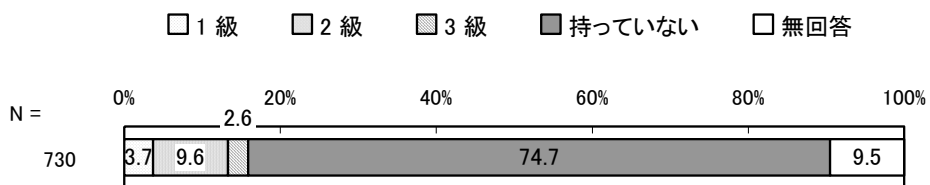
【障がい別】

障がい別で見ると、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者、難病患者ともに、若干ではありますが、療育手帳を所持しています。



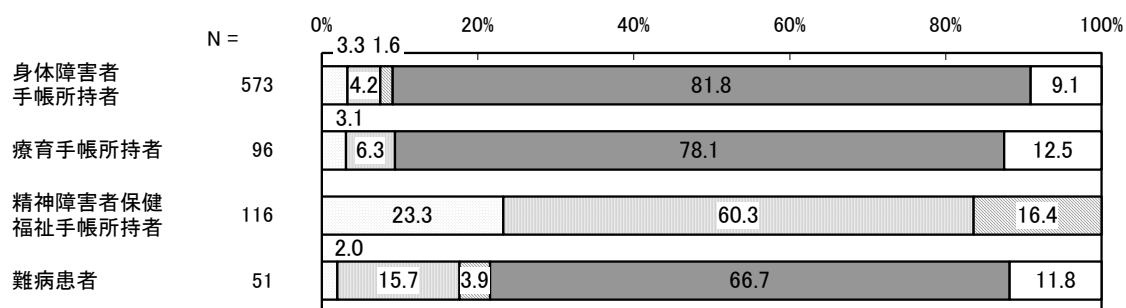
問 12 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

「持っていない」の割合が74.7%と最も高くなっています。



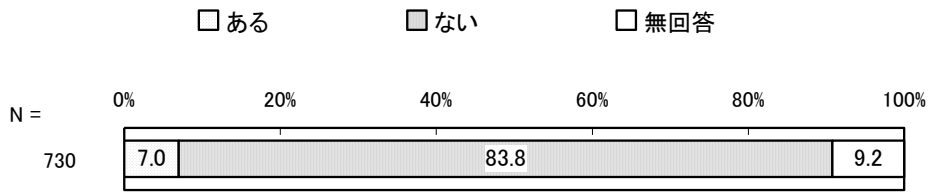
【障がい別】

障がい別でみると、難病患者の約2割が、精神障害者保健福祉手帳を所持しています。



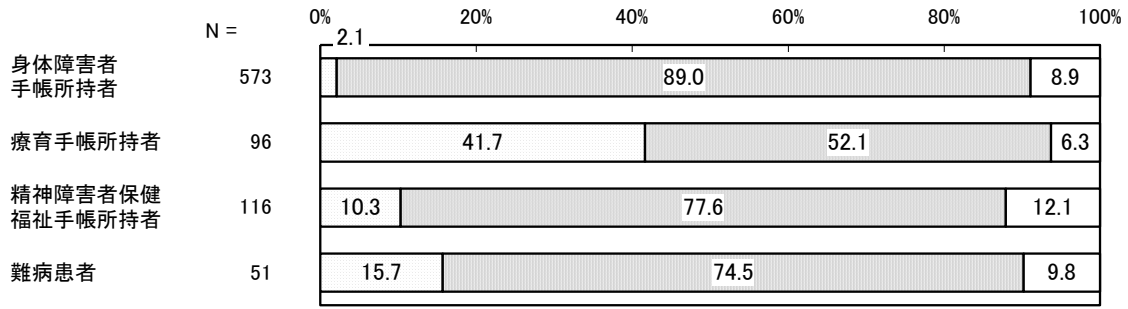
問 13 あなたは発達障がいと診断されたことがありますか。(○は1つだけ)

「ある」の割合が7.0%、「ない」の割合が83.8%となっています。



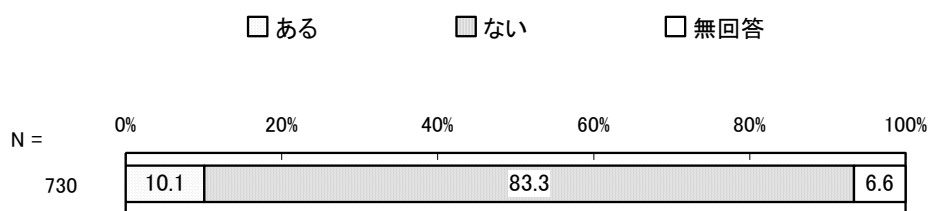
【障がい別】

障がい別でみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「ない」が高く、約9割となっています。また、療育手帳所持者で「ある」が高く、約4割となっています。



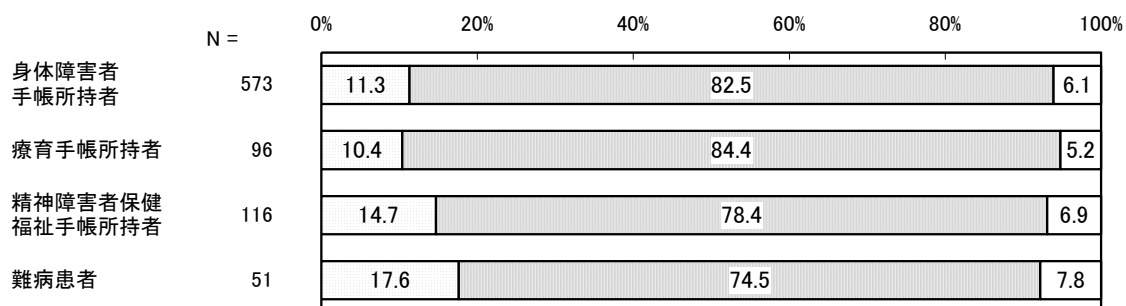
問 14 あなたは高次脳機能障がいと診断されたことがありますか。(○は1つだけ)

「ある」の割合が 10.1%、「ない」の割合が 83.3%となっています。



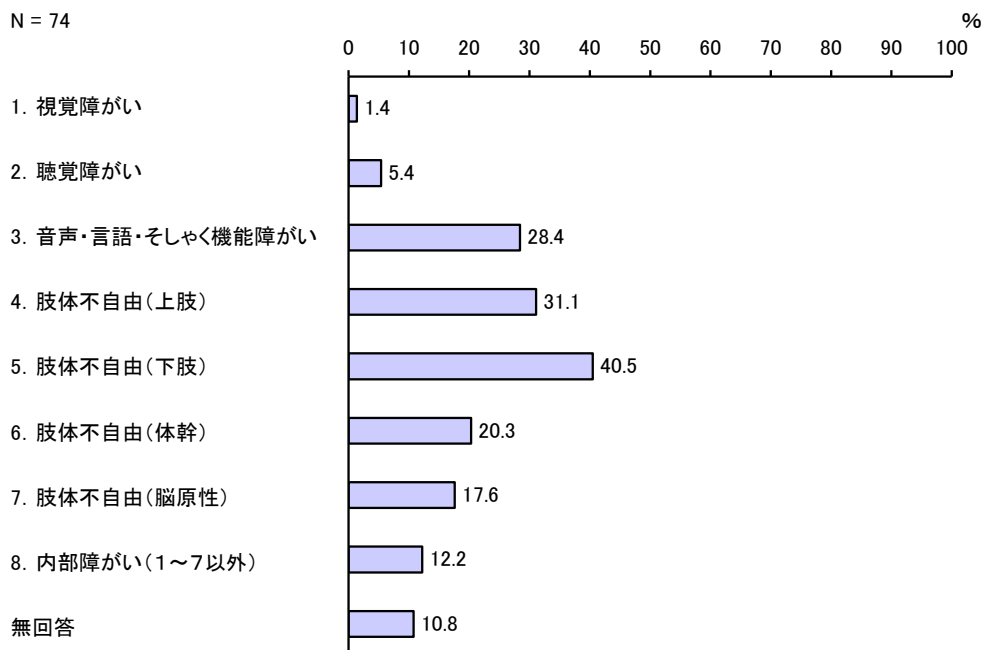
【障がい別】

障がい別で見ると、大きな差異はみられません。



問 15 問 14 で「ある」を選択した場合、その他身体に関わる障がいをお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

「肢体不自由（下肢）」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「肢体不自由（上肢）」の割合が 31.1%、「音声・言語・そしゃく機能障がい」の割合が 28.4%となっています。



【障がい別】

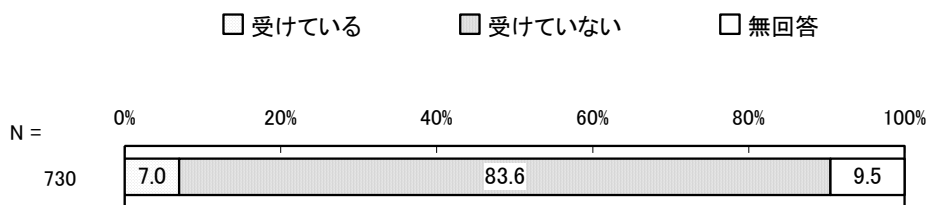
障がい別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「肢体不自由（下肢）」が、療育手帳所持者で「音声・言語・そしゃく機能障がい」が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「肢体不自由（体幹）」、「肢体不自由（脳原性）」が、難病患者で「内部障がい（1～7以外）」が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	1. 視覚障がい	2. 聴覚障がい	3. 音声・言語・そしゃく機能障がい	4. 肢体不自由(上肢)	5. 肢体不自由(下肢)	6. 肢体不自由(体幹)	7. 肢体不自由(脳原性)	8. 内部障がい(1～7以外)	無回答
身体障害者手帳所持者	65	1.5	4.6	24.6	32.3	41.5	21.5	18.5	12.3	12.3
療育手帳所持者	10	—	—	40.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	17	—	—	29.4	35.3	35.3	29.4	29.4	17.6	17.6
難病患者	9	—	—	33.3	11.1	11.1	—	—	33.3	33.3

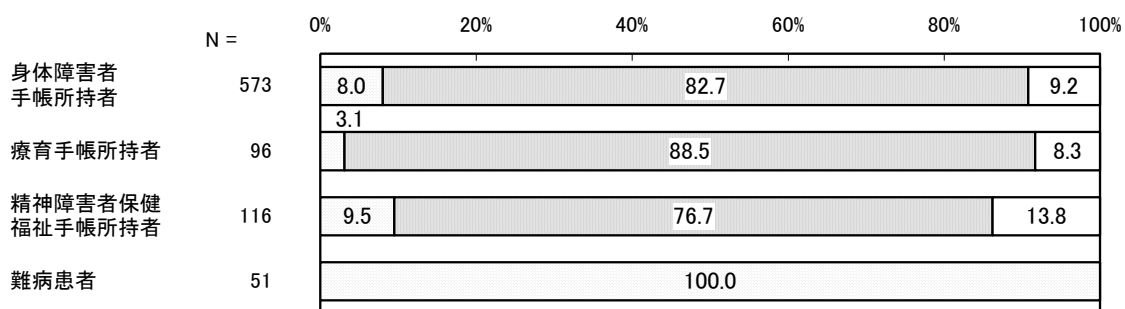
問 16 あなたは難病の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

「受けている」の割合が7.0%、「受けていない」の割合が83.6%となっています。



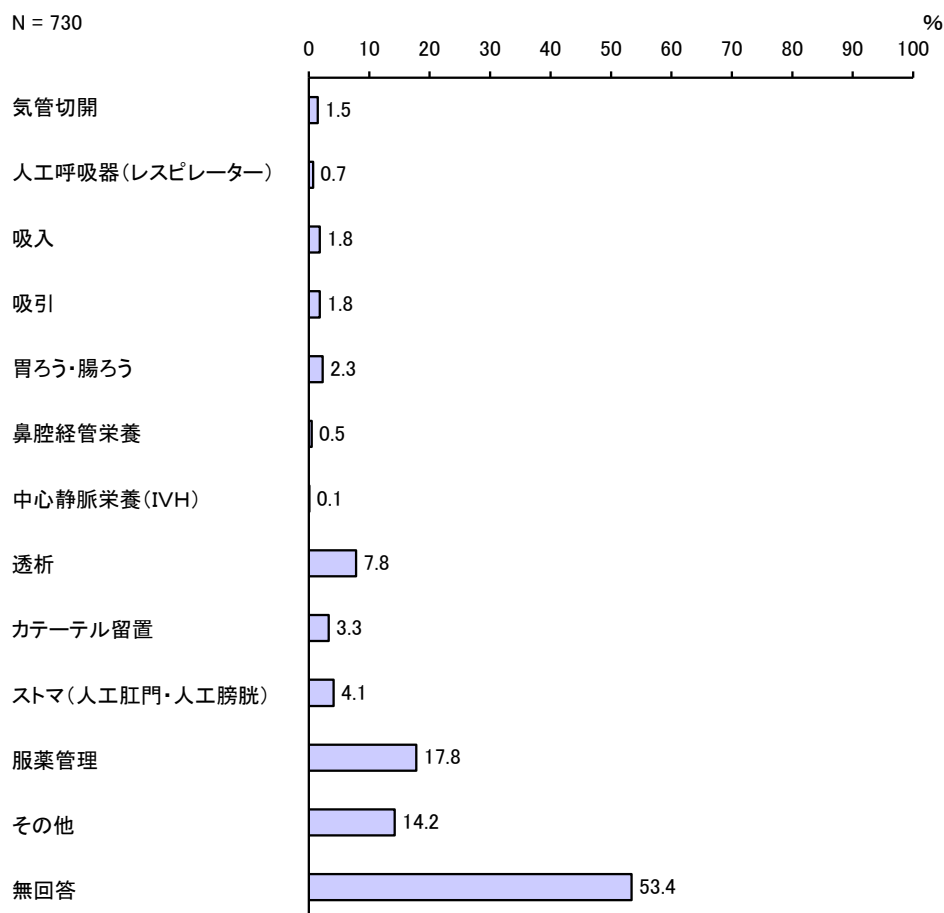
【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者で「受けている」が高くなっています。



問17 あなたが現在受けている医療ケアをご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

「服薬管理」の割合が17.8%と最も高くなっています。



【障がい別】

障がい別でみると、他に比べ、難病患者で「胃ろう・腸ろう」が1割近くとなっています。また、精神障害者保健福祉手帳所持者と難病患者で「服薬管理」が高くなっています。

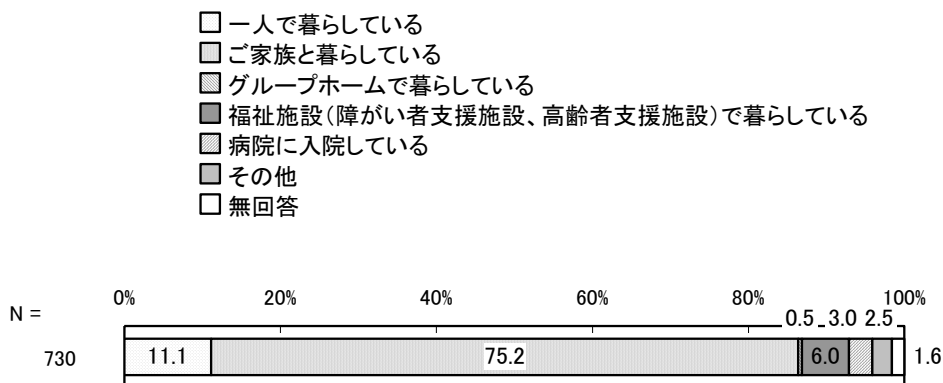
単位：%

区分	有効回答数 (件)	気管切開	人工呼吸器 (レスピレーター)	吸入	吸引	胃ろう・腸ろう	鼻腔経管栄養	中心静脈栄養 (IVH)	透析	カテーテル留置	ストマ (人工肛門・人工膀胱)	服薬管理	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	573	1.7	0.9	2.1	1.9	2.8	0.7	-	9.8	3.3	4.9	17.6	15.0	48.9
療育手帳所持者	96	-	1.0	-	-	-	-	-	1.0	-	-	13.5	12.5	74.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	0.9	0.9	1.7	2.6	1.7	0.9	-	1.7	2.6	-	27.6	13.8	55.2
難病患者	51	5.9	5.9	3.9	5.9	7.8	-	-	5.9	3.9	3.9	31.4	27.5	27.5

(3) 住まいや暮らしについて

問 18 あなたは現在どのように暮らしていますか。(〇は1つだけ)

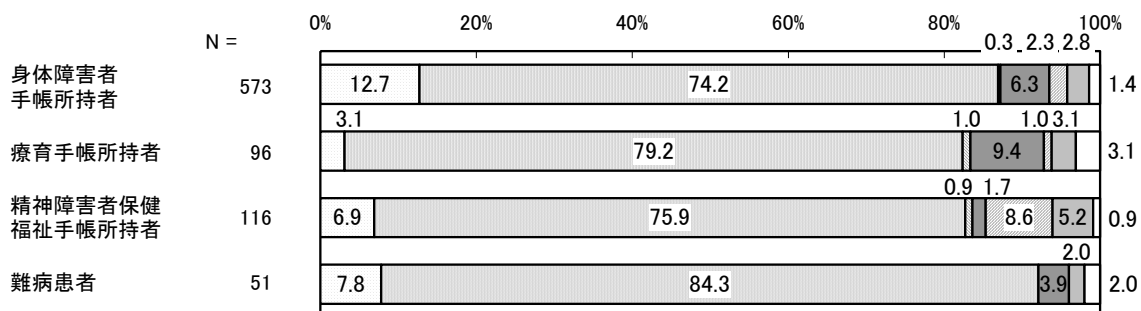
「ご家族と暮らしている」の割合が75.2%と最も高く、次いで「一人で暮らしている」の割合が11.1%となっています。



【障がい別】

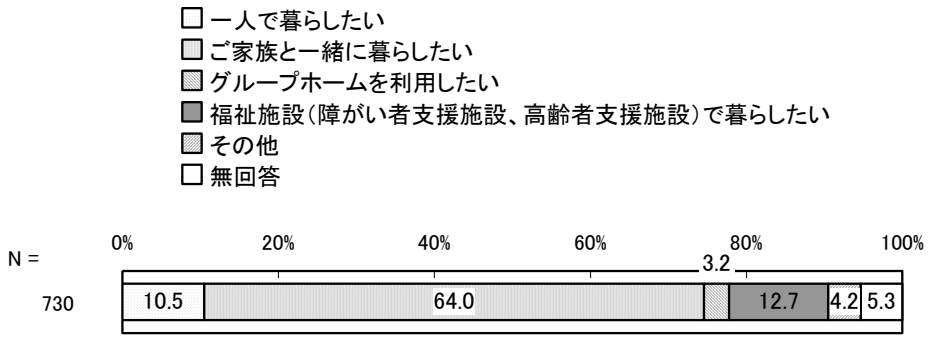
障がい別で見ると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者で「病院に入院している」が1割近くとなっています。また、難病患者で「ご家族と暮らしている」が高く、8割半ばとなっています。

0



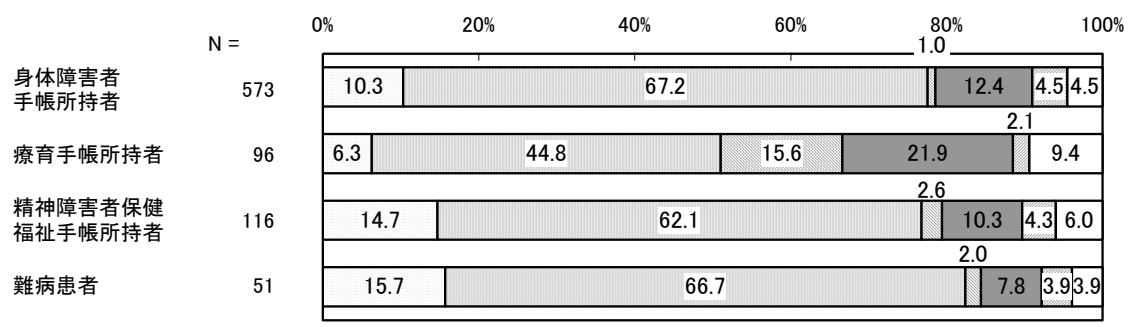
問 19 あなたは将来どのように暮らしたいと思いますか。(〇は1つだけ)

「ご家族と一緒に暮らしたい」の割合が64.0%と最も高く、次いで「福祉施設（障がい者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしたい」の割合が12.7%、「一人で暮らしたい」の割合が10.5%となっています。



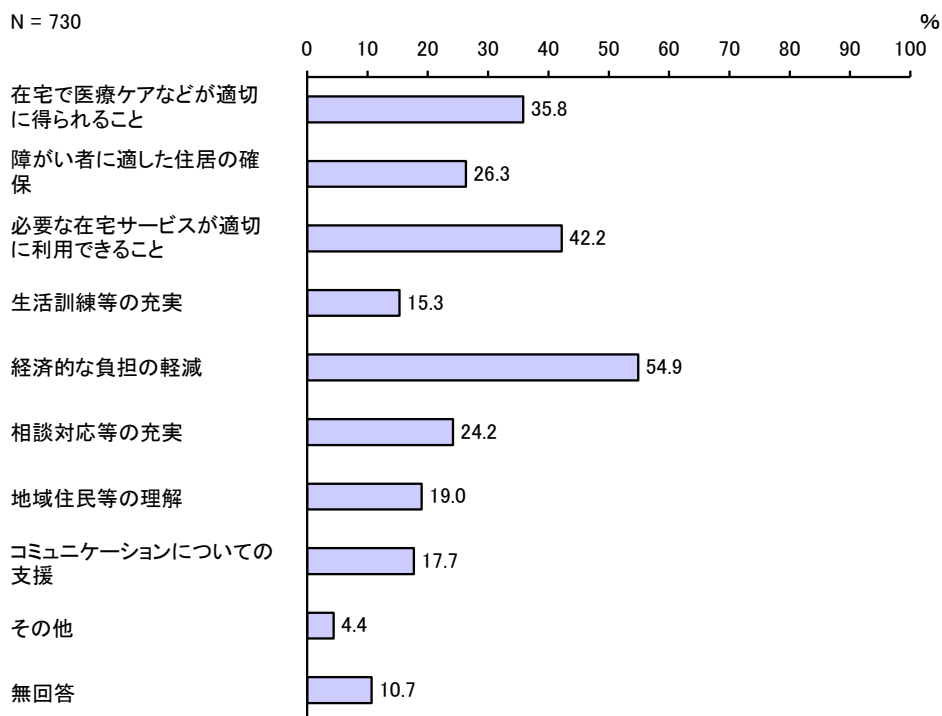
【障がい別】

障がい別でみると、他に比べ、療育手帳所持者で「グループホームを利用したい」、「福祉施設（障がい者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしたい」が高くなっています。



問 20 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「経済的な負担の軽減」の割合が 54.9%と最も高く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」の割合が 42.2%、「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」の割合が 35.8%となっています。



【障がい別】

障がい別でみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者と難病患者で「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」が、療育手帳所持者で「生活訓練等の充実」、「相談対応等の充実」、「地域住民等の理解」が、療育手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者で「コミュニケーションについての支援」が高くなっています。

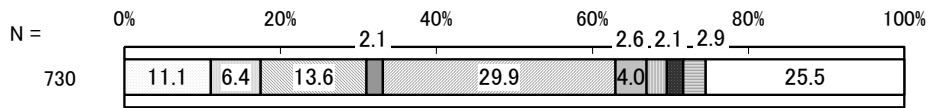
単位：%

区分	有効回答数(件)	在宅で医療ケアなどが適切に得られること	障がい者に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	地域住民等の理解	コミュニケーションについての支援	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	573	38.7	23.9	43.1	11.9	51.3	19.2	14.3	13.3	3.7	11.3
療育手帳所持者	96	30.2	34.4	44.8	28.1	60.4	39.6	37.5	32.3	4.2	10.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	24.1	33.6	31.0	17.2	60.3	31.0	26.7	26.7	3.4	12.9
難病患者	51	39.2	35.3	43.1	15.7	64.7	19.6	17.6	13.7	3.9	7.8

【上記のうち最も必要なものの番号を記入して下さい。】

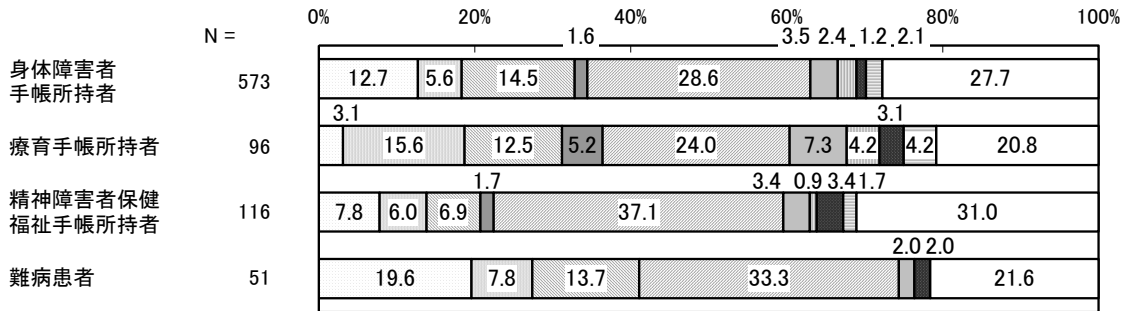
「経済的な負担の軽減」の割合が 29.9%と最も高く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」の割合が 13.6%、「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」の割合が 11.1%となっています。

- 在宅で医療ケアなどが適切に得られること
- ▨ 障がい者に適した住居の確保
- ▨ 必要な在宅サービスが適切に利用できること
- ▨ 生活訓練等の充実
- ▨ 経済的な負担の軽減
- ▨ 相談対応等の充実
- ▨ 地域住民等の理解
- コミュニケーションについての支援
- ▨ その他
- 無回答



【障がい別】

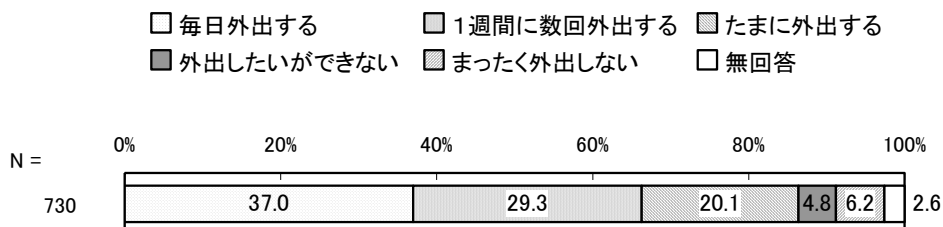
障がい別でみると、他に比べ、療育手帳所持者で「障がい者に適した住居の確保」が、精神障害者保健福祉手帳所持者と難病患者で「経済的な負担の軽減」が、難病患者で「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」が高くなっています。



(4) 日中活動や就労についてお聞きします。

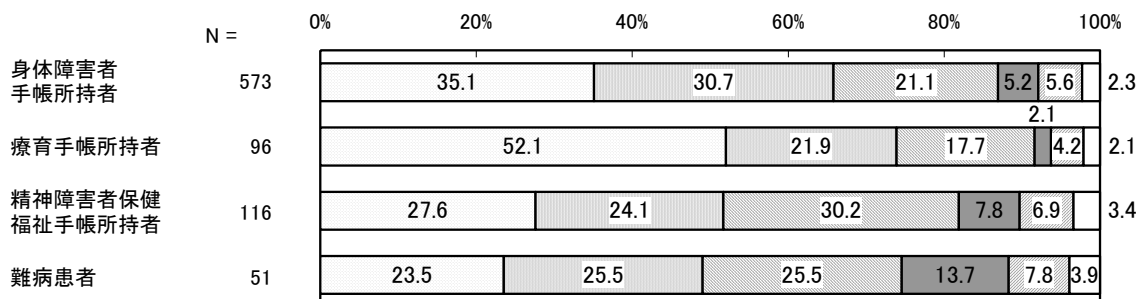
問 21 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)

「毎日外出する」の割合が37.0%と最も高く、次いで「1週間に数回外出する」の割合が29.3%、「たまに外出する」の割合が20.1%となっています。



【障がい別】

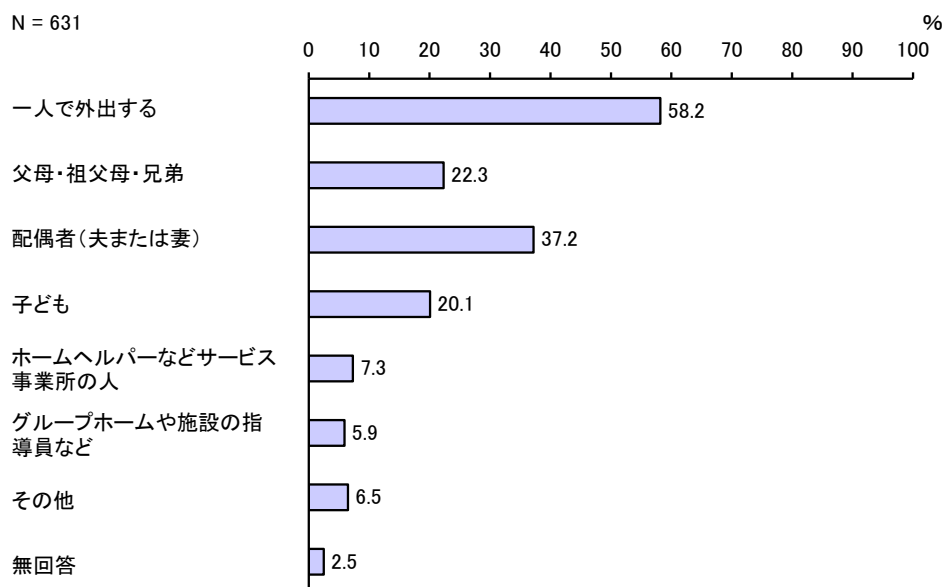
障がい別でみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「1週間に数回外出する」が、療育手帳所持者で「毎日外出する」が、難病患者で「外出したいができない」が高くなっています。



【問 22 から問 24 は、問 21 で、「毎日外出する」「1 週間に数回外出する」「たまに外出する」を選択した場合にお答えください。】

問 22 あなたは、外出する際に誰と外出しますか。(あてはまるものすべてに○)

「一人で外出する」の割合が 58.2%と最も高く、次いで「配偶者(夫または妻)」の割合が 37.2%、「父母・祖父母・兄弟」の割合が 22.3%となっています。



【障がい別】

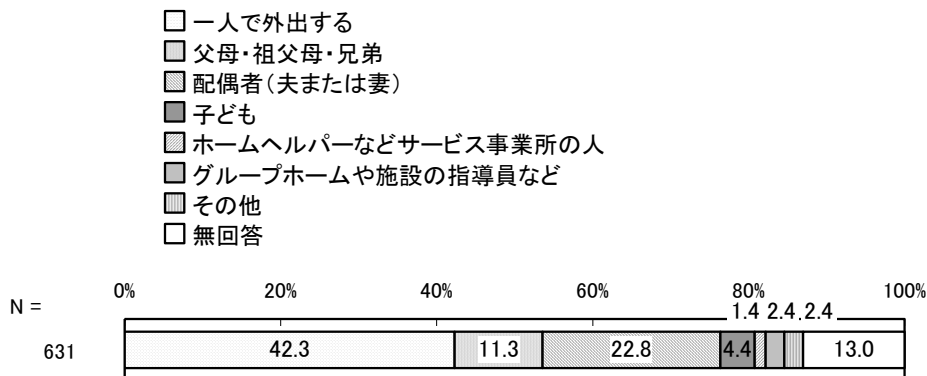
障がい別でみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者で「一人で外出する」が、療育手帳所持者で「父母・祖父母・兄弟」、「ホームヘルパーなどサービス事業所の人」が、難病患者で「配偶者(夫または妻)」が、身体障害者手帳所持者と難病患者で「子ども」が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	一人で外出する	父母・祖父母・兄弟	配偶者(夫または妻)	子ども	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	グループホームや施設の指導員など	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	498	58.0	12.7	44.2	23.5	6.4	5.8	6.0	2.8
療育手帳所持者	88	35.2	69.3	9.1	1.1	15.9	10.2	4.5	2.3
精神障害者保健福祉手帳所持者	95	61.1	32.6	25.3	13.7	3.2	5.3	10.5	2.1
難病患者	38	47.4	7.9	52.6	26.3	5.3	10.5	5.3	—

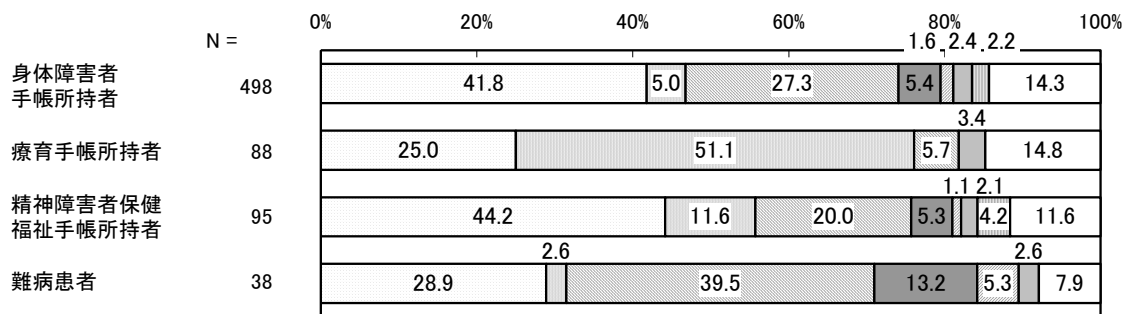
【上記のうち最も多いものの番号を記入して下さい】

「一人で外出する」の割合が42.3%と最も高く、次いで「配偶者(夫または妻)」の割合が22.8%、「父母・祖父母・兄弟」の割合が11.3%となっています。



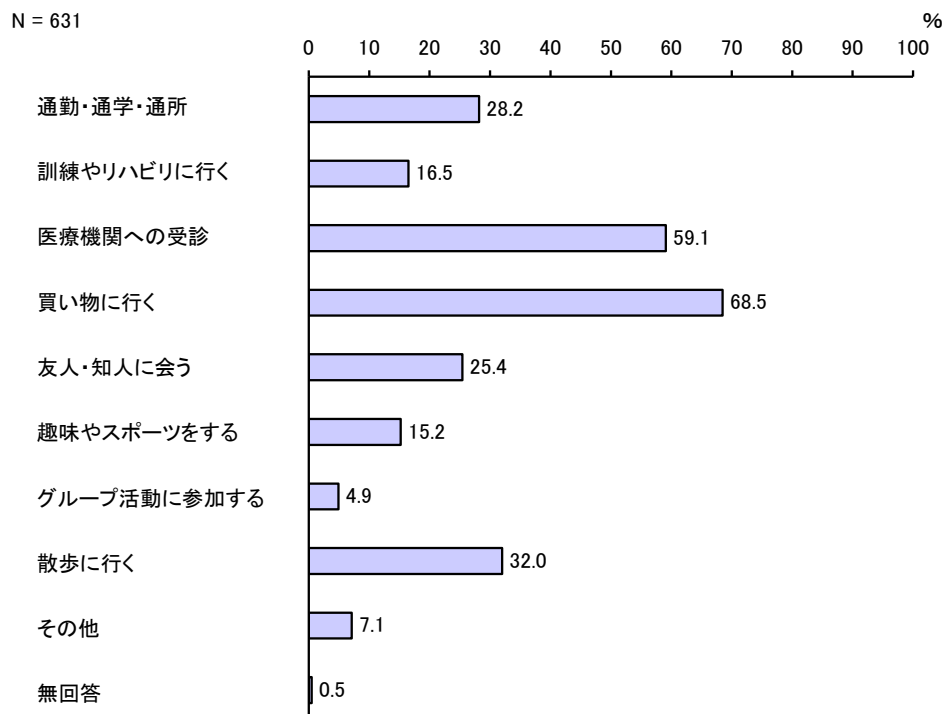
【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者で「一人で外出する」が、療育手帳所持者で「父母・祖父母・兄弟」が、難病患者で「配偶者(夫または妻)」、「子ども」が高くなっています。



問 23 どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

「買い物に行く」の割合が68.5%と最も高く、次いで「医療機関への受診」の割合が59.1%、「散歩に行く」の割合が32.0%となっています。



【障がい別】

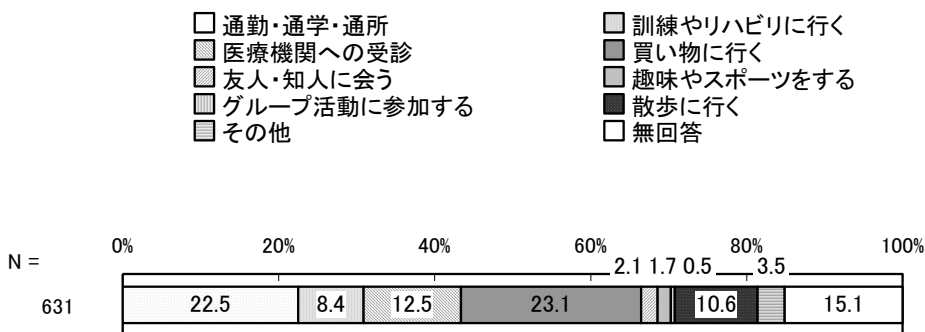
障がい別でみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「友人・知人に会う」が、身体障害者手帳所持者と療育手帳所持者で「散歩に行く」が、療育手帳所持者で「通勤・通学・通所」が、難病患者で「医療機関への受診」が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	通勤・通学・通所	訓練やリハビリに行く	医療機関への受診	買い物に行く	友人・知人に会う	趣味やスポーツをする	グループ活動に参加する	散歩に行く	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	498	21.3	17.9	60.2	67.9	28.1	14.7	4.2	32.5	6.8	0.4
療育手帳所持者	88	67.0	6.8	50.0	67.0	6.8	11.4	8.0	30.7	8.0	-
精神障害者保健福祉手帳所持者	95	28.4	15.8	62.1	62.1	17.9	12.6	2.1	21.1	9.5	1.1
難病患者	38	15.8	18.4	68.4	52.6	21.1	13.2	7.9	18.4	2.6	-

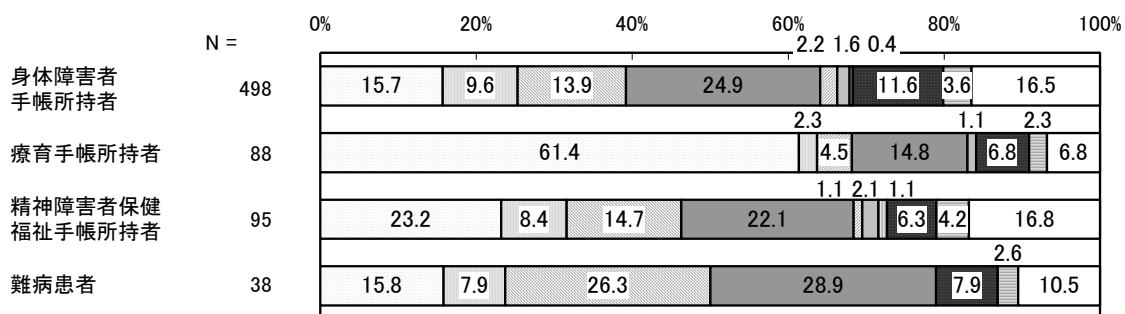
【上記のうち最も多いものの番号を記入して下さい】

「買い物に行く」の割合が23.1%と最も高く、次いで「通勤・通学・通所」の割合が22.5%、「医療機関への受診」の割合が12.5%となっています。



【障がい別】

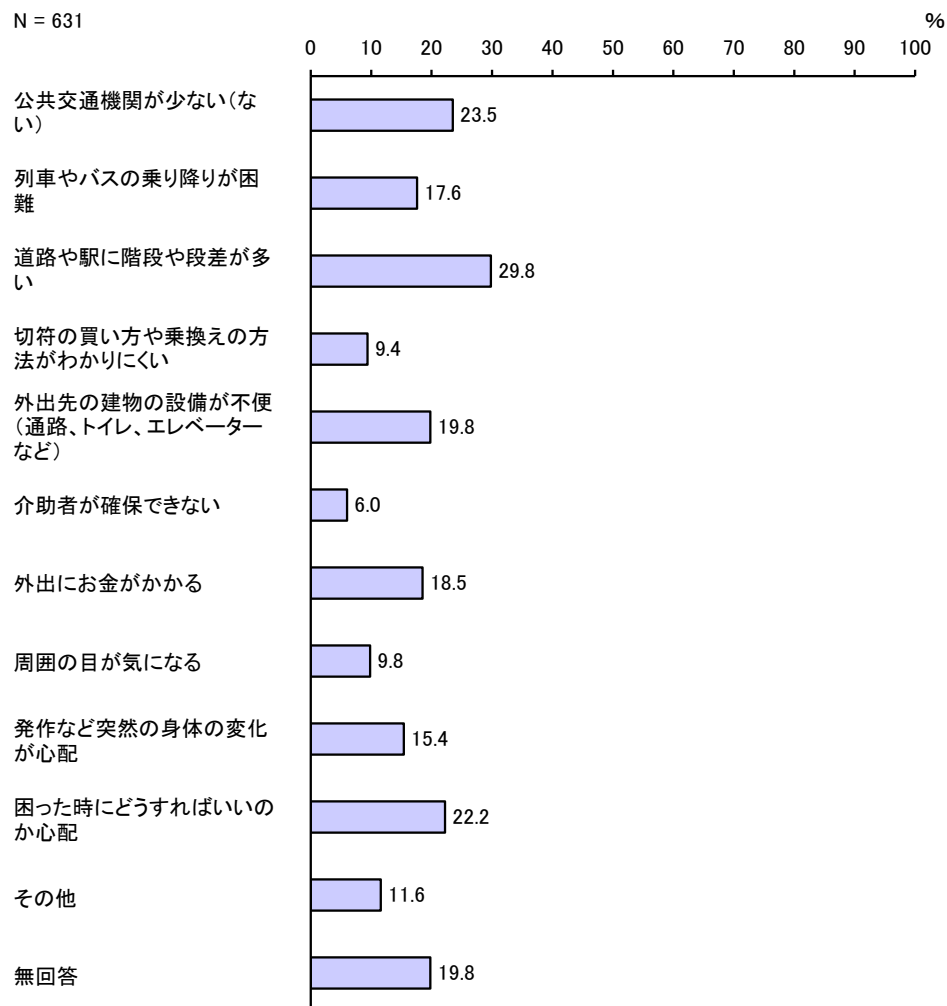
障がい別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「散歩に行く」が、療育手帳所持者で「通勤・通学・通所」が、難病患者で「医療機関への受診」が高くなっています。



問 24 外出について困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「道路や駅に階段や段差が多い」の割合が29.8%と最も高く、次いで「公共交通機関が少ない(ない)」の割合が23.5%、「困った時にどうすればいいのか心配」の割合が22.2%となっています。

N = 631



【障がい別】

障がい別でみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者と難病患者で「道路や駅に階段や段差が多い」が、療育手帳所持者で「切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい」、「困った時にどうすればいいのか心配」が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「外出にお金がかかる」、「周囲の目が気になる」、「発作など突然の身体の変化が心配」が、難病患者で「列車やバスの乗り降りが困難」、「外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーターなど）」が高くなっています。

単位：％

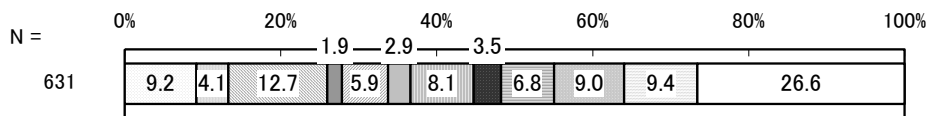
区分	有効回答数 (件)	公共交通機関が少ない (ない)	列車やバスの乗り降り が困難	道路や駅に階段や段差 が多い	切符の買い方や乗換え の方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が 不便（通路、トイレ、 エレベーターなど）	介助者が確保できない
身体障害者 手帳所持者	498	22.9	19.3	35.5	8.0	22.1	5.0
療育手帳所持者	88	21.6	15.9	12.5	22.7	17.0	12.5
精神障害者保健 福祉手帳所持者	95	29.5	13.7	13.7	10.5	8.4	7.4
難病患者	38	26.3	36.8	47.4	15.8	28.9	10.5

区分	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作など突然の身体 の変化が心配	困った時にどうす ればいいのか心配	その他	無回答
身体障害者 手帳所持者	16.3	5.0	13.3	17.7	12.0	21.9
療育手帳所持者	13.6	20.5	14.8	45.5	13.6	14.8
精神障害者保健 福祉手帳所持者	33.7	26.3	29.5	29.5	10.5	16.8
難病患者	21.1	15.8	15.8	26.3	15.8	13.2

【上記のうち最も困るものの番号を記入して下さい】

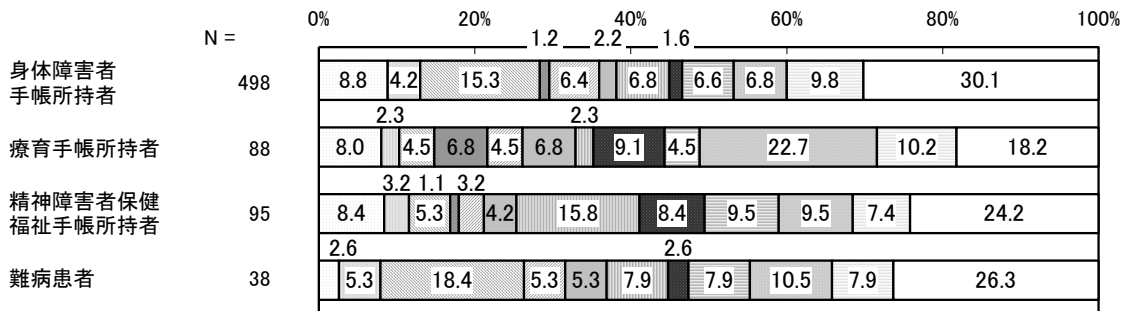
「道路や駅に階段や段差が多い」の割合が12.7%と最も高くなっています。

- 公共交通機関が少ない(ない)
- 列車やバスの乗り降りが困難
- 道路や駅に階段や段差が多い
- 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい
- 外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)
- 介助者が確保できない
- 外出にお金がかかる
- 周囲の目が気になる
- 発作など突然の身体の変化が心配
- 困った時にどうすればいいの心配
- その他
- 無回答



【障がい別】

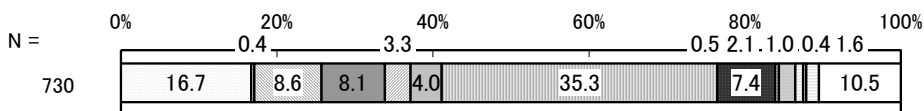
障がい別でみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者と難病患者で「道路や駅に階段や段差が多い」が、療育手帳所持者で「困った時にどうすればいいの心配」が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「外出にお金がかかる」が、療育手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者で「周囲の目が気になる」が高くなっています。



問 25 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

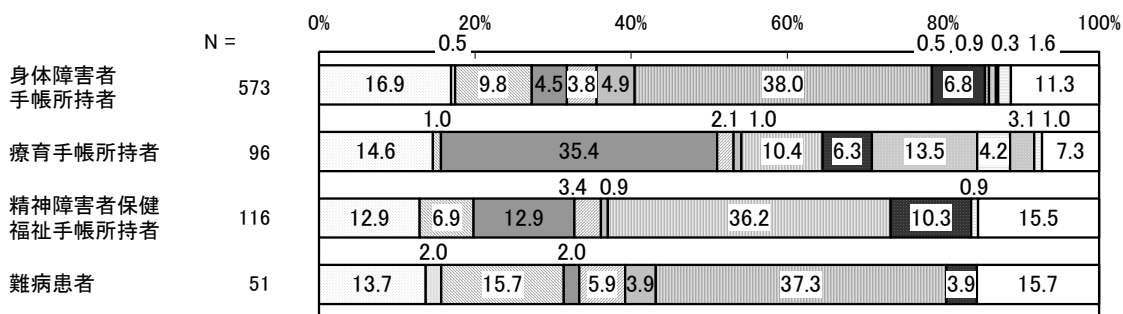
「自宅で過ごしている」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」の割合が 16.7%となっています。

- 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている
- ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている
- 専業主婦(主夫)をしている
- 福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)
- 病院などのデイケアに通っている
- リハビリテーションを受けている
- 自宅で過ごしている
- 入所している施設や病院等で過ごしている
- 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている
- 特別支援学校(小中高等部)に通っている
- 高校(全日制、定時制、通信制)、地域の小中学校に通っている
- 幼稚園、保育所、障がい児通園施設などに通っている
- その他
- 無回答



【障がい別】

障がい別でみると、他に比べ、療育手帳所持者で「福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)」、「特別支援学校(小中高等部)に通っている」が、難病患者で「専業主婦(主夫)をしている」が高くなっています。

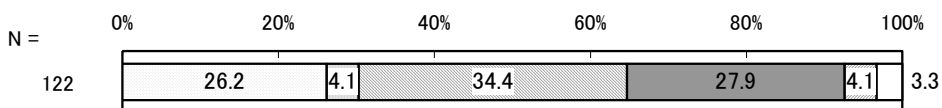


【問 25 で、「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」を選択した場合にお答えください。】

問 26 どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「自営業、農林水産業など」の割合が 27.9%、「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」の割合が 26.2%となっています。

- 正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない
- 正職員で短時間勤務等の障がい者配慮がある
- パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員
- 自営業、農林水産業など
- その他
- 無回答



【障がい別】

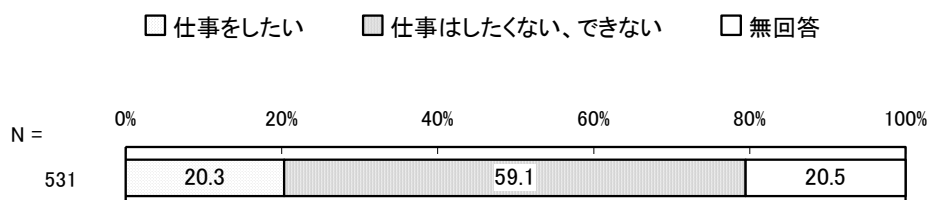
障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が高く、6割半ばとなっています。



【問 27 と問 28 は、問 25 で、「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」以外を選択した方にお聞きします。】

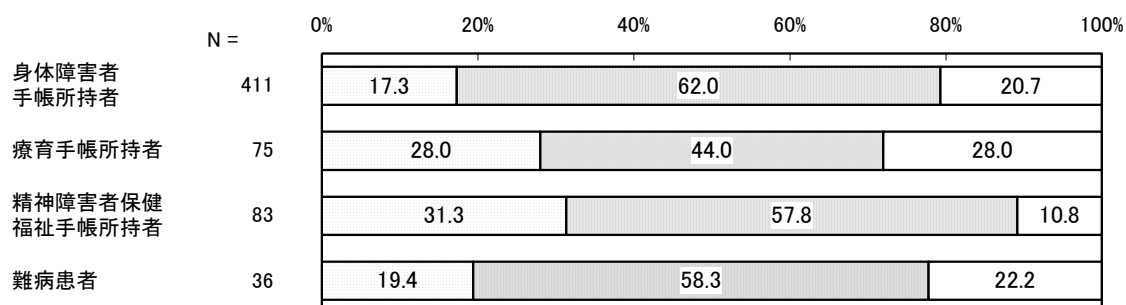
問 27 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(○は1つだけ)

「仕事をしたい」の割合が 20.3%、「仕事はしたくない、できない」の割合が 59.1%となっています。



【障がい別】

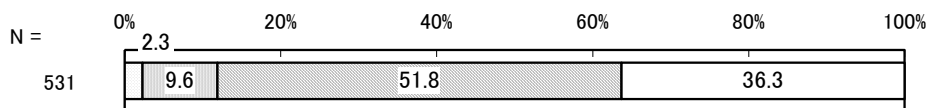
障がい別でみると、他に比べ、療育手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者で「仕事をしたい」が高くなっています。



問 28 収入を得る仕事を得るために、職業訓練を受けたいと思いますか。
(○は1つだけ)

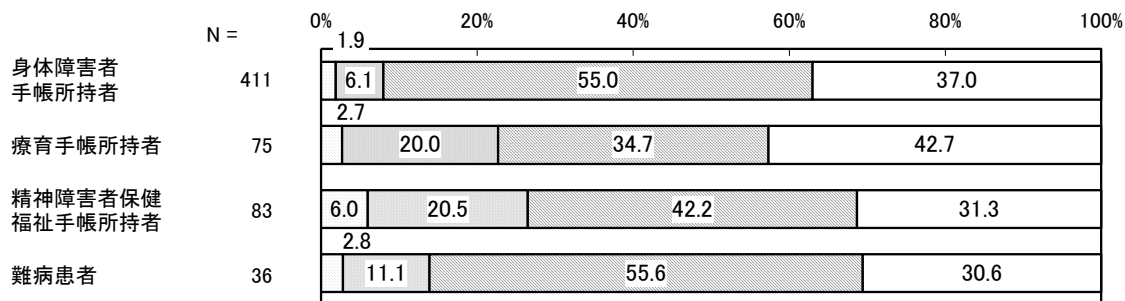
「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」の割合が51.8%と最も高くなっています。

- すでに職業訓練を受けている
- 職業訓練を受けたい
- 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない
- 無回答



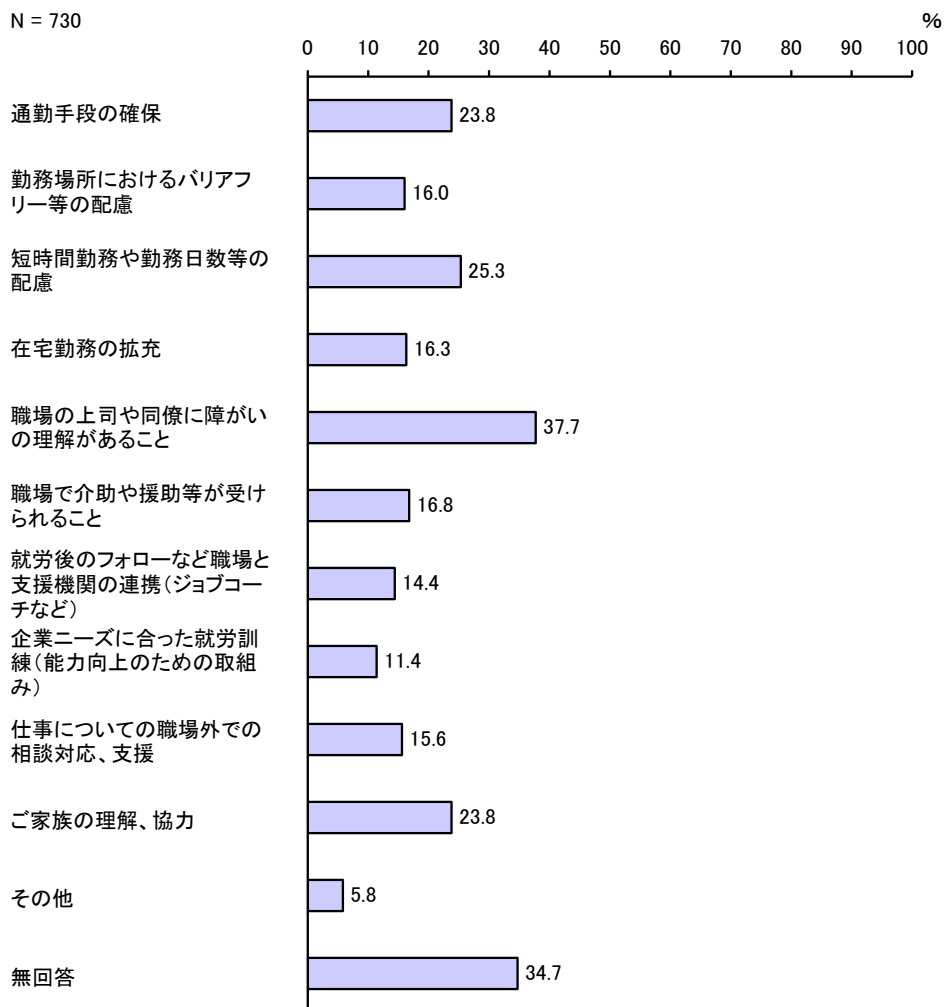
【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳所持者と難病患者で「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が、療育手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者で「職業訓練を受けたい」が高くなっています。



問 29 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「短時間勤務や勤務日数等の配慮」の割合が 25.3%、「ご家族の理解、協力」の割合が 23.8%となっています。



【障がい別】

障がい別でみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者と難病患者で「勤務場所におけるバリアフリー等の配慮」が、療育手帳所持者で「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」、「職場で介助や援助等が受けられること」、「就労後のフォローなど職場と支援機関の連携（ジョブコーチなど）」、「企業ニーズに合った就労訓練（能力向上のための取組み）」、「仕事についての職場外での相談対応、支援」が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「ご家族の理解、協力」が、難病患者で「在宅勤務の拡充」が高くなっています。

単位：％

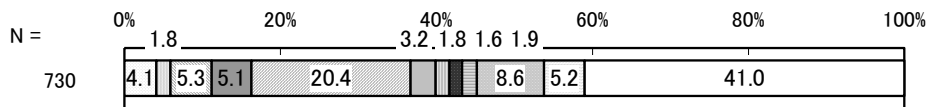
区分	有効回答数（件）	通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	短時間勤務や勤務日数等の配慮	在宅勤務の拡充	職場の上司や同僚に障がいの理解があること	職場で介助や援助等が受けられること
身体障害者手帳所持者	573	20.6	17.1	22.7	16.8	32.6	14.1
療育手帳所持者	96	34.4	9.4	28.1	13.5	54.2	35.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	25.9	9.5	26.7	12.1	39.7	12.9
難病患者	51	29.4	23.5	25.5	27.5	31.4	11.8

区分	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携（ジョブコーチなど）	企業ニーズに合った就労訓練（能力向上のための取組み）	仕事についての職場外での相談対応、支援	ご家族の理解、協力	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	9.8	8.6	10.1	21.3	5.9	38.2
療育手帳所持者	33.3	22.9	34.4	26.0	1.0	25.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	19.8	13.8	25.9	34.5	6.9	31.0
難病患者	11.8	13.7	17.6	29.4	13.7	31.4

【上記のうち最も必要なものの番号を記入して下さい】

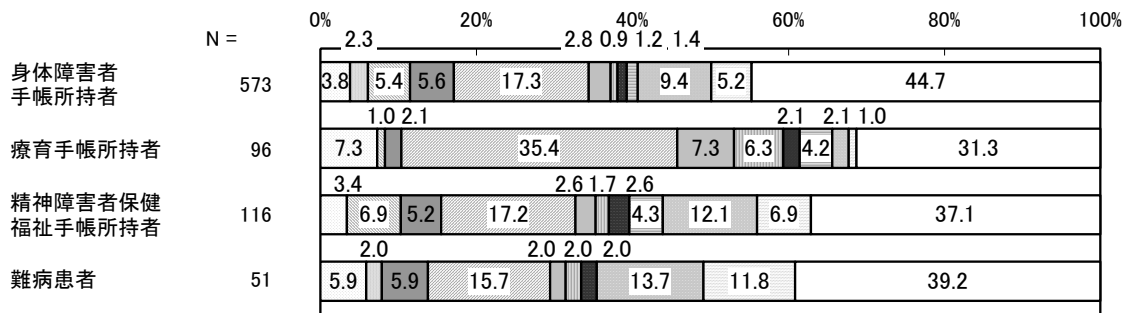
「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」の割合が20.4%と最も高くなっています。

- 通勤手段の確保
- 勤務場所におけるバリアフリー等の配慮
- 短時間勤務や勤務日数等の配慮
- 在宅勤務の拡充
- 職場の上司や同僚に障がいの理解があること
- 職場で介助や援助等が受けられること
- 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携(ジョブコーチなど)
- 企業ニーズに合った就労訓練(能力向上のための取組み)
- 仕事についての職場外での相談対応、支援
- ご家族の理解、協力
- その他
- 無回答



【障がい別】

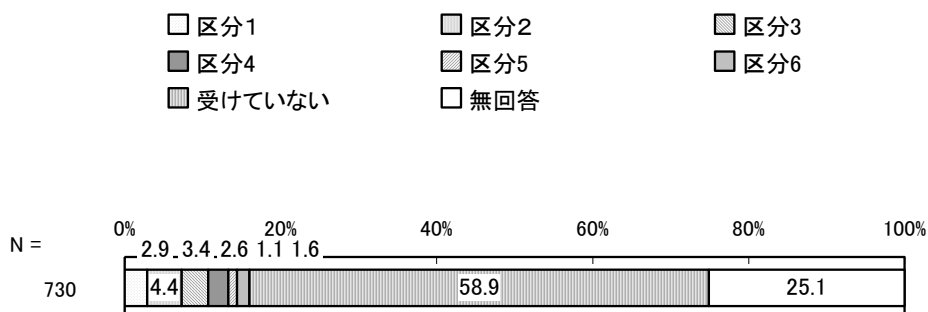
障がい別でみると、他に比べ、療育手帳所持者で「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が高く、3割半ばとなっています。



(5) 障がい福祉サービス等の利用についてお聞きします。

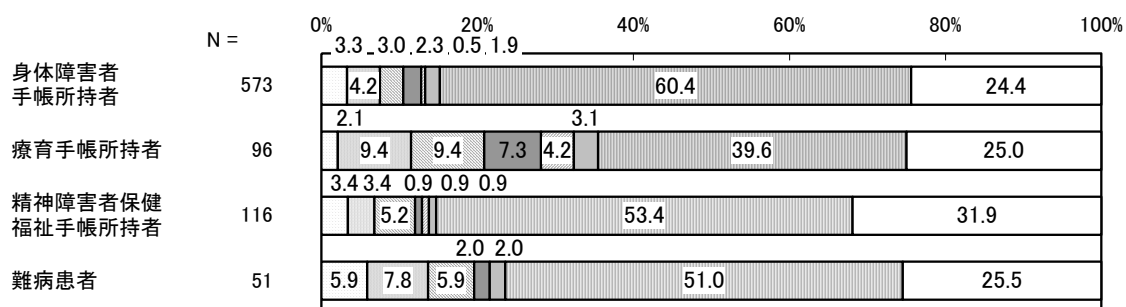
問 30 あなたは障害程度（支援）区分の認定を受けていますか。（○は1つだけ）

「受けていない」の割合が58.9%と最も高くなっています。



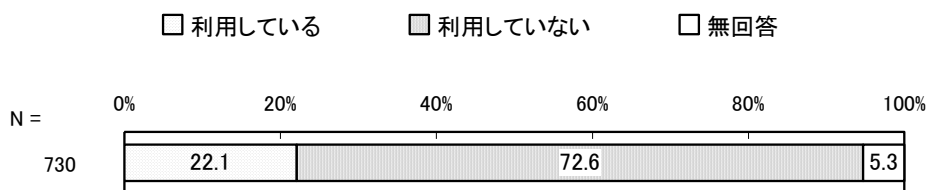
【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「受けていない」が高く、約6割となっています。



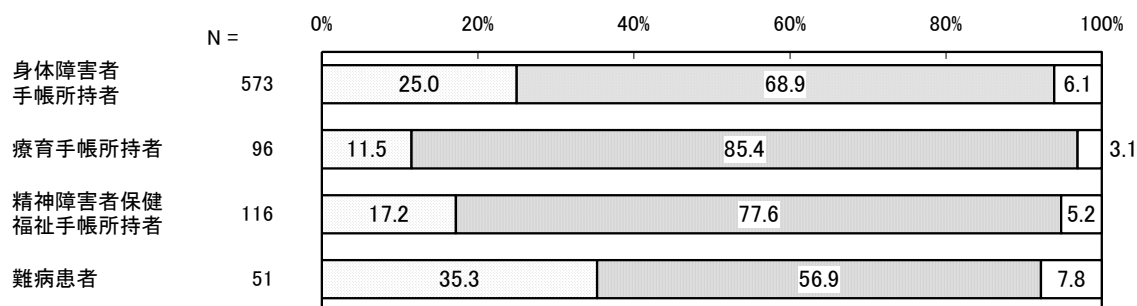
問 31 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つだけ)

「利用している」の割合が 22.1%、「利用していない」の割合が 72.6%となっています。



【障がい別】

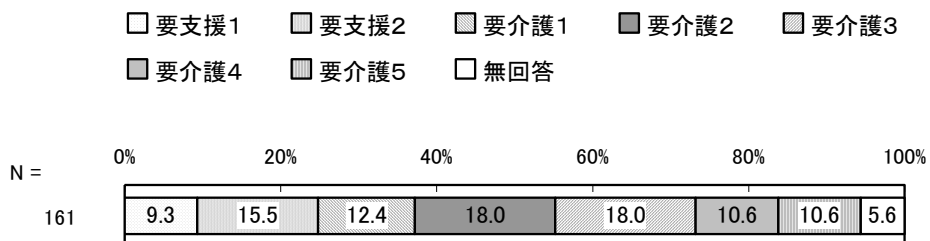
障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「利用していない」が高く、8割半ばとなっています。



【問 31 で、「利用している」を選択した方にお聞きします。】

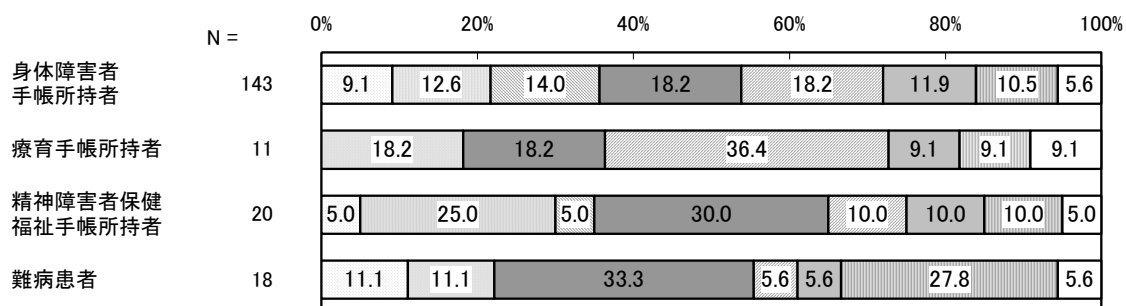
問 32 該当する要介護度はどれですか。(○は1つだけ)

「要介護2」「要介護3」の割合が18.0%と最も高く、次いで「要支援2」の割合が15.5%となっています。



【障がい別】

障がい別でみると、他に比べ、療育手帳所持者で「要介護3」が、療育手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者で「要支援2」が、精神障害者保健福祉手帳所持者と難病患者で「要介護2」が、難病患者で「要介護5」が高くなっています。



問 33 あなたは①から⑳のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考
 えますか。「利用している」「利用していない」に○を1つ、「利用したい」「利用した
 くない」に○を1つ

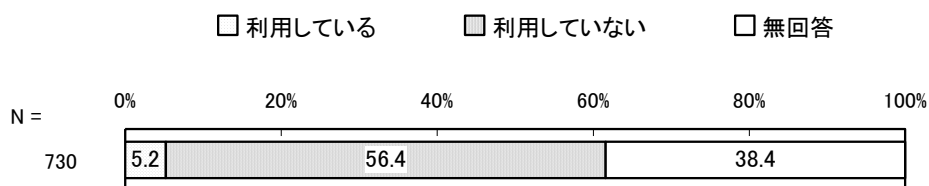
《訪問系サービス》

① 居宅介護（ホームヘルプ）

自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を行うサービスです。

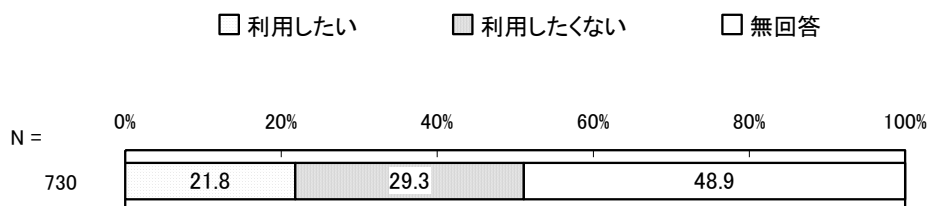
【現在利用しているか】

「利用していない」の割合が56.4%となっています。



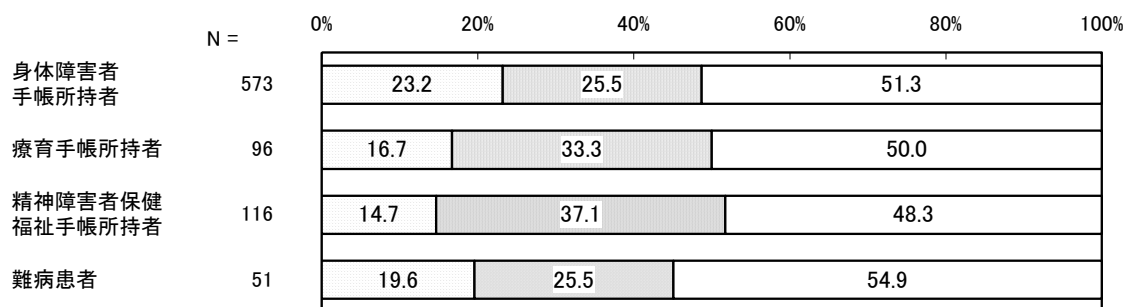
【今後利用したいか】

「利用したくない」の割合が29.3%、「利用したい」の割合が21.8%となっています。



【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者で「利用した
 くない」が高くなっています。

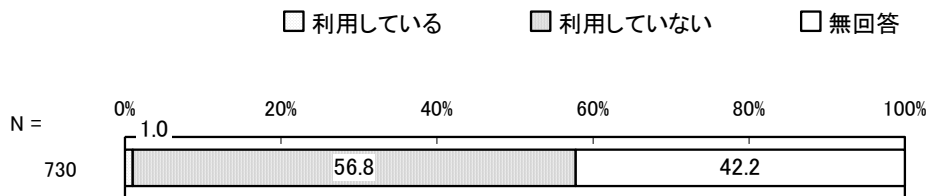


② 重度訪問介護

重度の障がいがあり常に介護が必要な方に、自宅で入浴や排せつ食事などの介助や外出時の移動の補助を行うサービスです。

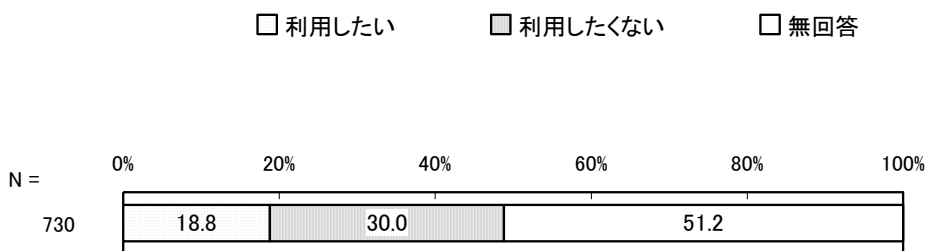
【現在利用しているか】

「利用していない」の割合が56.8%となっています。



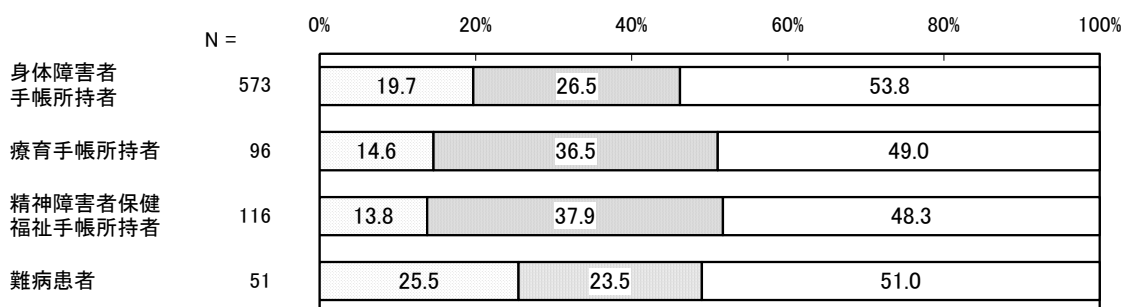
【今後利用したいか】

「利用したくない」の割合が30.0%、「利用したい」の割合が18.8%となっています。



【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、難病患者で「利用したい」が、療育手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者で「利用したくない」が高くなっています。

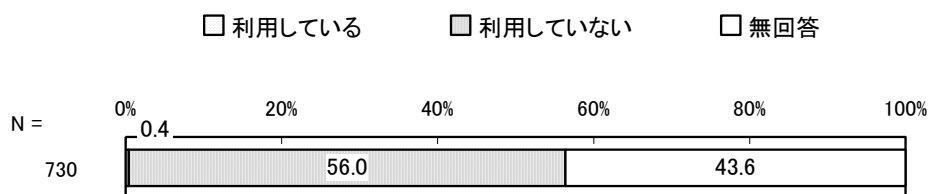


③ 同行援護

視覚障がいにより移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の援護などを行うサービスです。

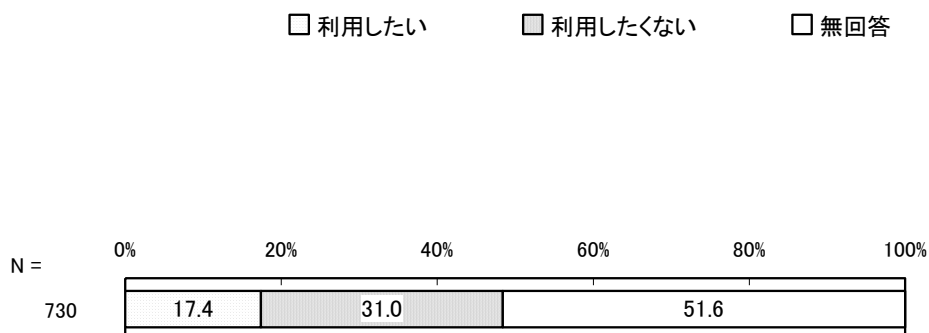
【現在利用しているか】

「利用していない」の割合が56.0%となっています。



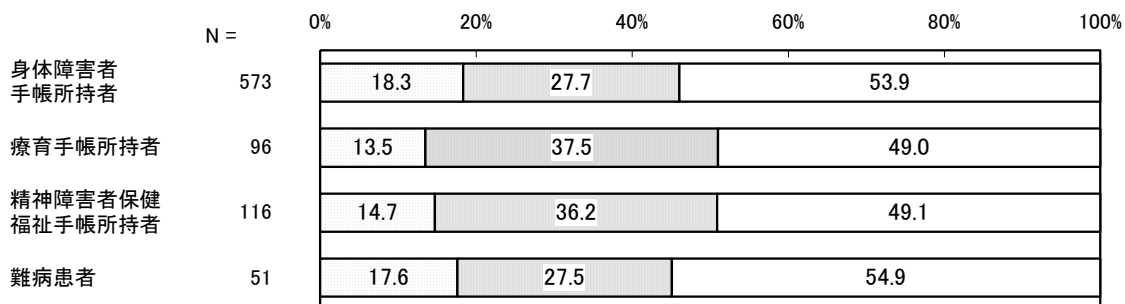
【今後利用したいか】

「利用したくない」の割合が31.0%、「利用したい」の割合が17.4%となっています。



【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者で「利用したくない」が高くなっています。

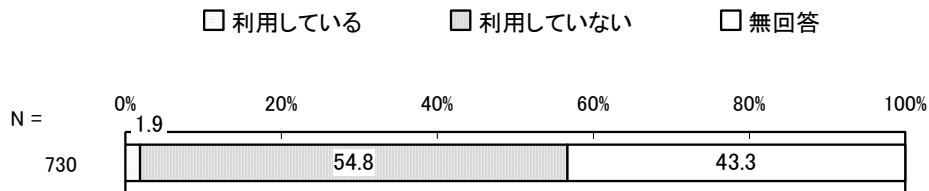


④ 行動援護

知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービスです。

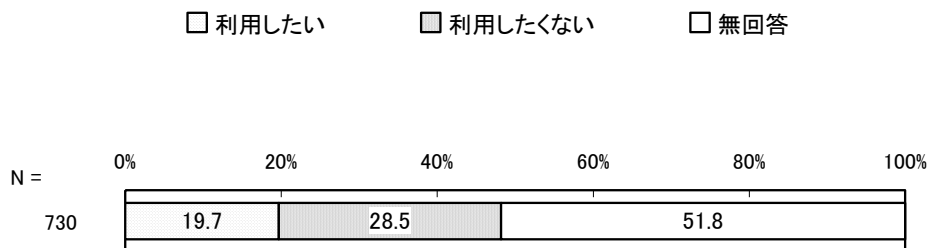
【現在利用しているか】

「利用していない」の割合が54.8%となっています。



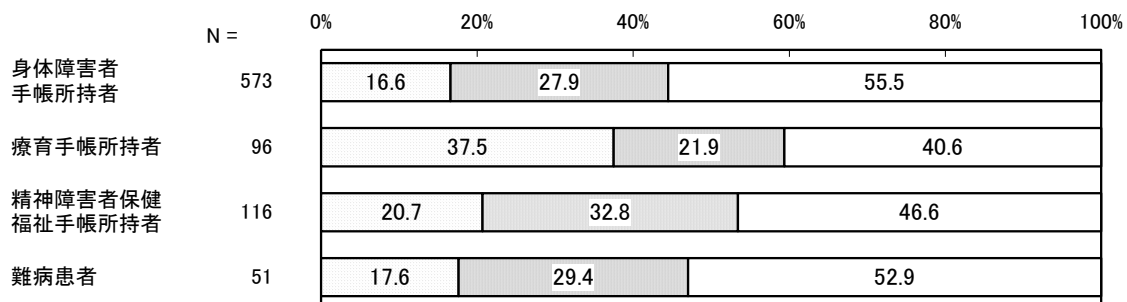
【今後利用したいか】

「利用したくない」の割合が28.5%、「利用したい」の割合が19.7%となっています。



【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「利用したい」が高く、4割近くとなっています。

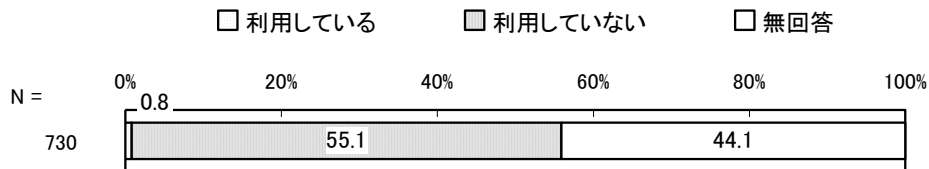


⑤ 重度障害者等包括支援

常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が著しく高い方に、居宅介護などのサービスを包括的に提供するサービスです。

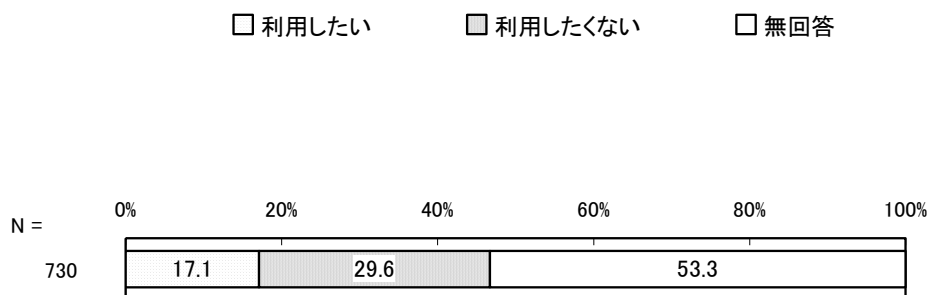
【現在利用しているか】

「利用していない」の割合が55.1%となっています。



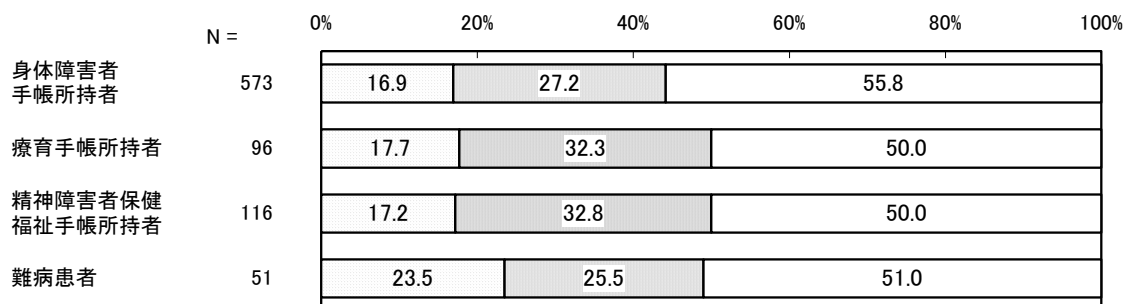
【今後利用したいか】

「利用したくない」の割合が29.6%、「利用したい」の割合が17.1%となっています。



【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、難病患者で「利用したい」が、療育手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者で「利用したくない」が高くなっています。



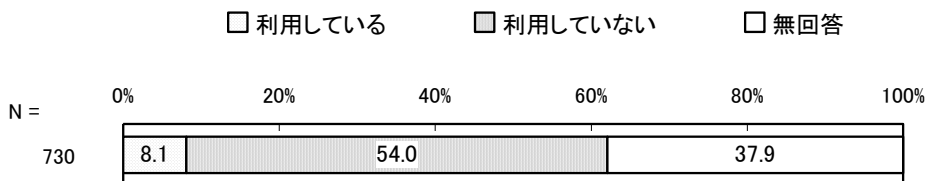
《日中活動系サービス》

⑥ 生活介護

常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供するサービスです。

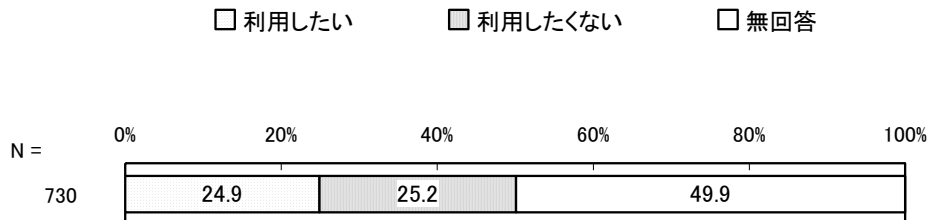
【現在利用しているか】

「利用していない」の割合が54.0%となっています。



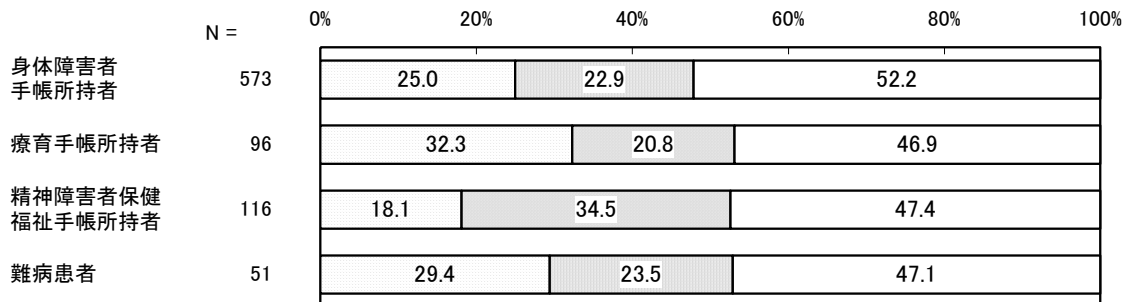
【今後利用したいか】

「利用したくない」の割合が25.2%、「利用したい」の割合が24.9%となっています。



【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所有者で「利用したくない」が高く、3割半ばとなっています。

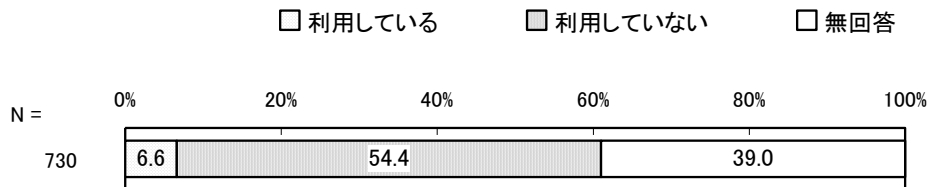


⑦ 自立訓練（機能訓練、生活訓練、宿泊型自立訓練）

自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行なうサービスです。

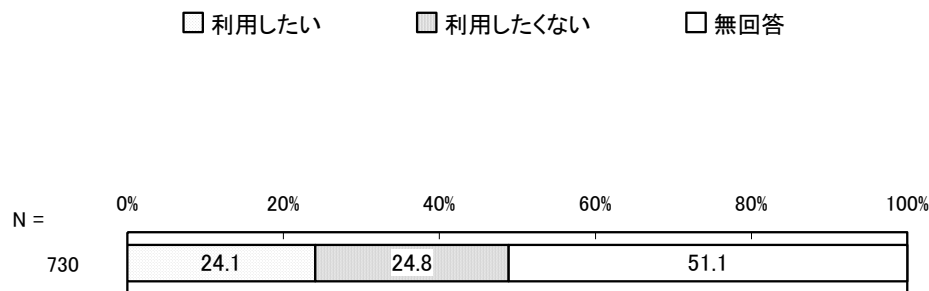
【現在利用しているか】

「利用していない」の割合が54.4%となっています。



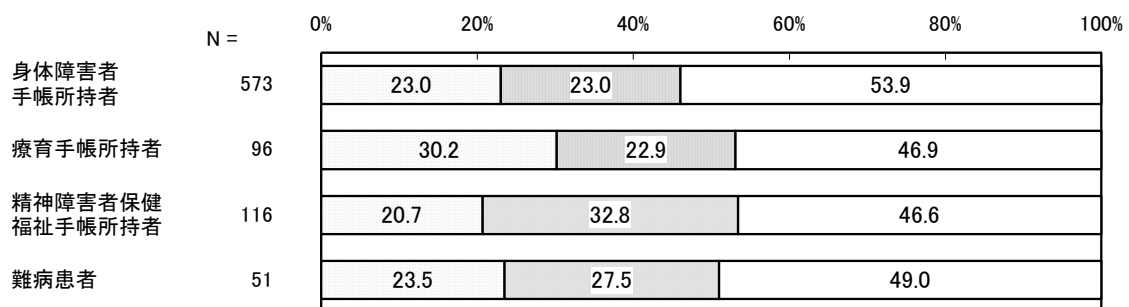
【今後利用したいか】

「利用したくない」の割合が24.8%、「利用したい」の割合が24.1%となっています。



【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「利用したい」が高く、約3割となっています。また、精神障害者保健福祉手帳所持者で「利用したくない」が高く、3割を超えています。

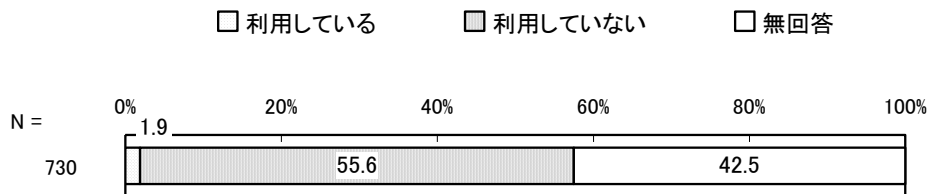


⑧ 就労移行支援

通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練を行うサービスです。

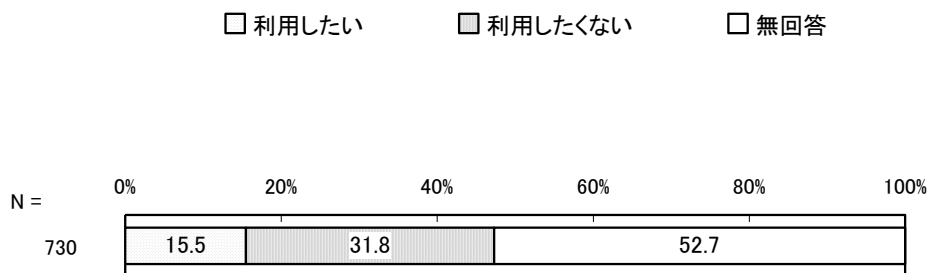
【現在利用しているか】

「利用していない」の割合が55.6%となっています。



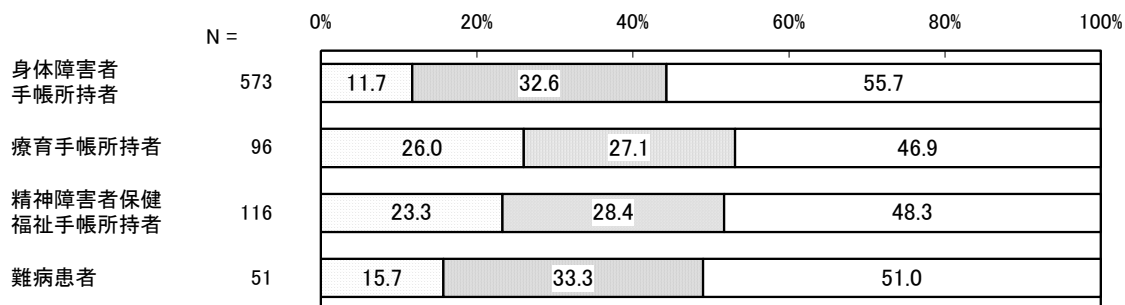
【今後利用したいか】

「利用したくない」の割合が31.8%、「利用したい」の割合が15.5%となっています。



【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者で「利用したい」が高くなっています。

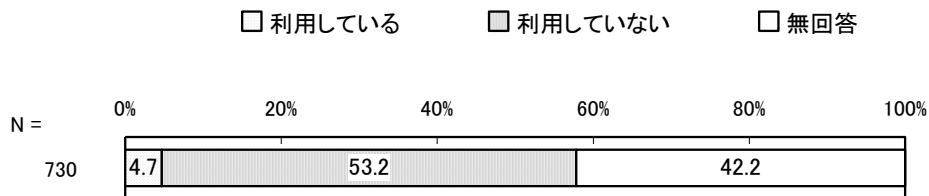


⑨ 就労継続支援（A型、B型）

通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の機会の提供や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。

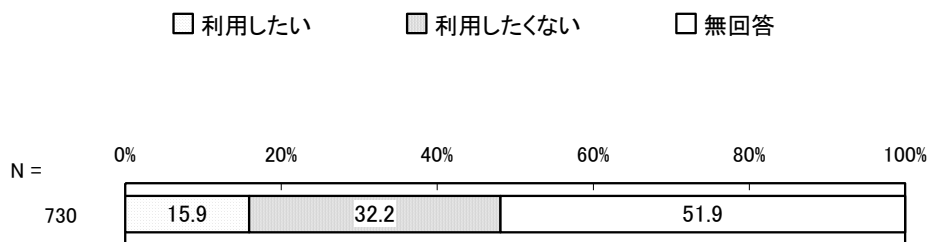
【現在利用しているか】

「利用していない」の割合が53.2%となっています。



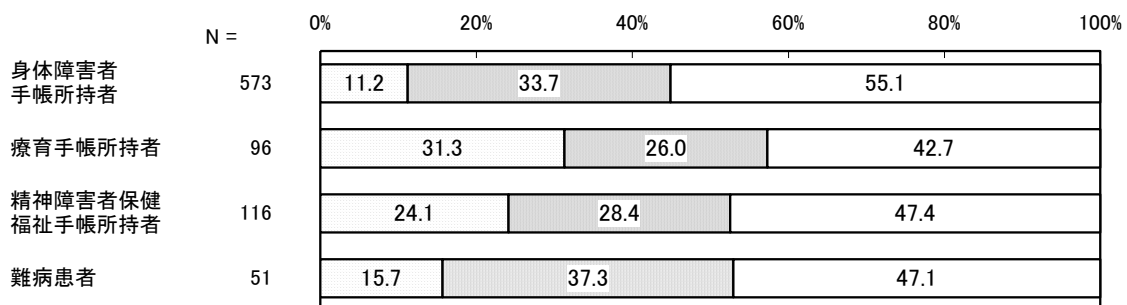
【今後利用したいか】

「利用したくない」の割合が32.2%、「利用したい」の割合が15.9%となっています。



【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「利用したい」が、身体障害者手帳所持者と難病患者で「利用したくない」が高くなっています。

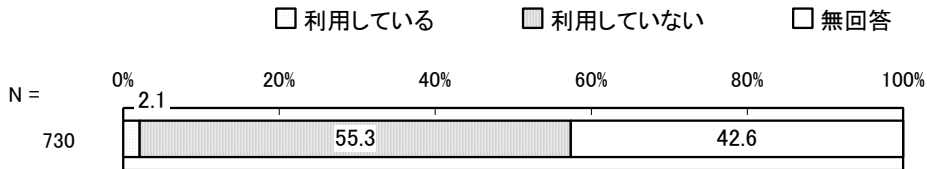


⑩ 療養介護

医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、主に昼間に病院等において機能訓練、療養上の管理、看護などを提供するサービスです。

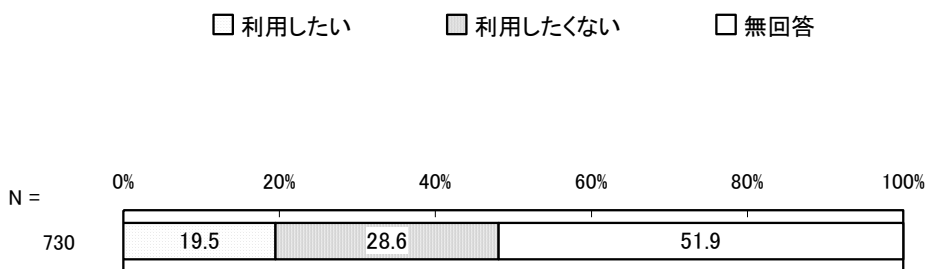
【現在利用しているか】

「利用していない」の割合が55.3%となっています。



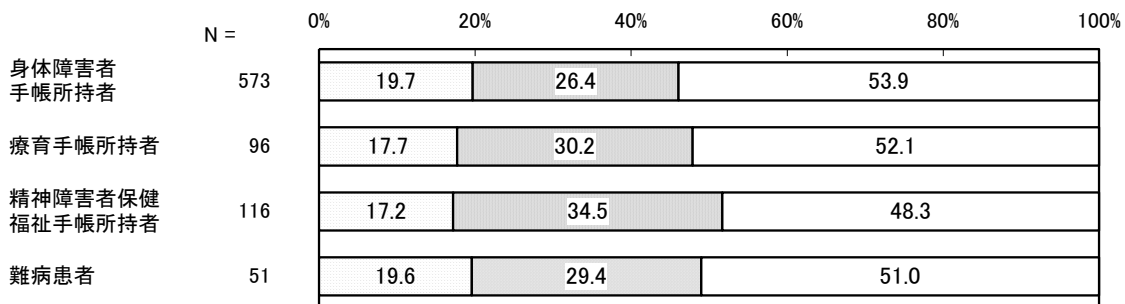
【今後利用したいか】

「利用したくない」の割合が28.6%、「利用したい」の割合が19.5%となっています。



【障がい別】

障がい別で見ると、大きな差異はみられません。



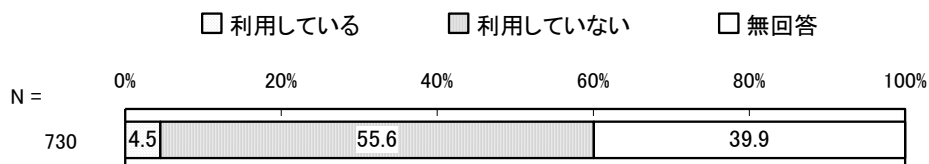
《居住系サービス》

① 短期入所（ショートステイ）

在宅の障がい者（児）を介護する方が病気の場合などに、障がい者が施設に短期間入所し、入浴、排せつ、食事の介護などを行うサービスです。

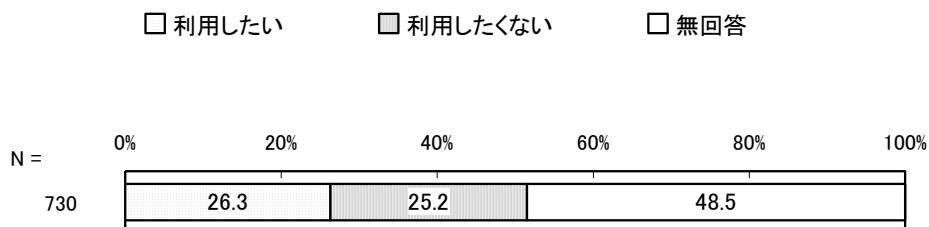
【現在利用しているか】

「利用していない」の割合が55.6%となっています。



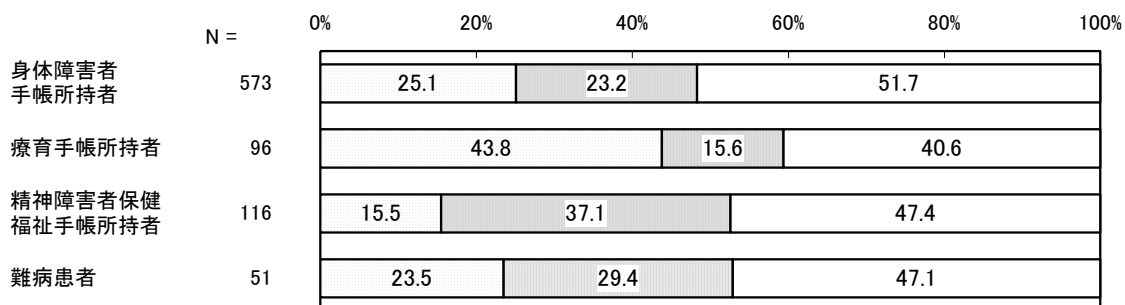
【今後利用したいか】

「利用したい」の割合が26.3%、「利用したくない」の割合が25.2%となっています。



【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「利用したい」が高く、4割を超えています。また、精神障害者保健福祉手帳所持者で「利用したくない」が高く、4割近くとなっています。

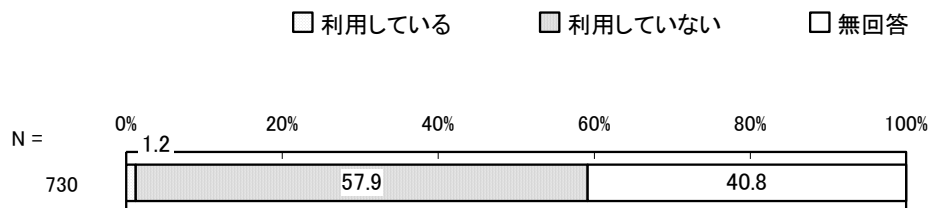


⑫ 共同生活援助（グループホーム）

夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービスです。

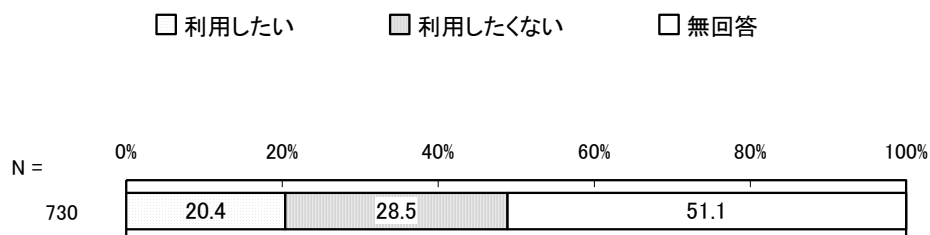
【現在利用しているか】

「利用していない」の割合が57.9%となっています。



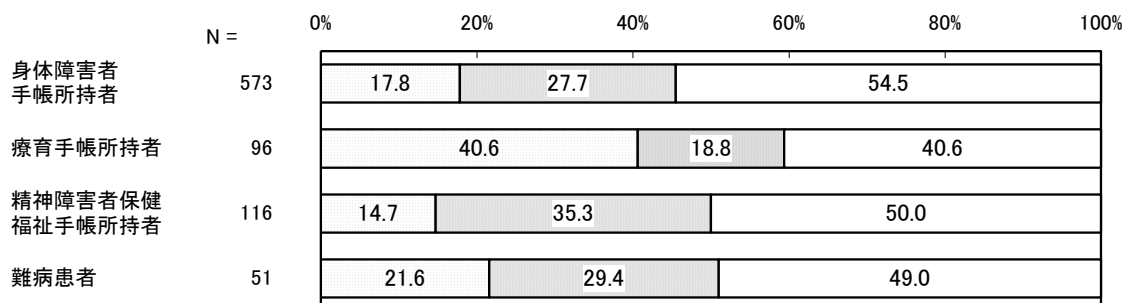
【今後利用したいか】

「利用したくない」の割合が28.5%、「利用したい」の割合が20.4%となっています。



【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「利用したい」が高く、約4割となっています。また、精神障害者保健福祉手帳所持者で「利用したくない」が高く、3割半ばとなっています。

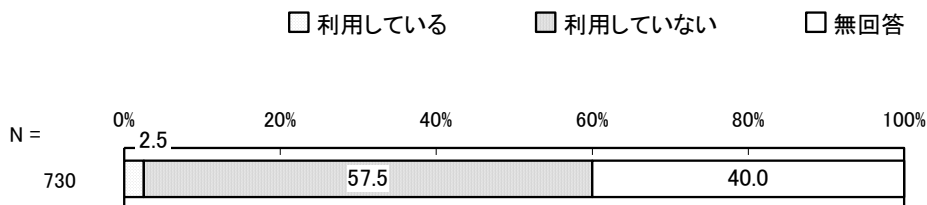


⑬ 施設入所支援

主として夜間、施設に入所する障がい者（児）に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサービスです。

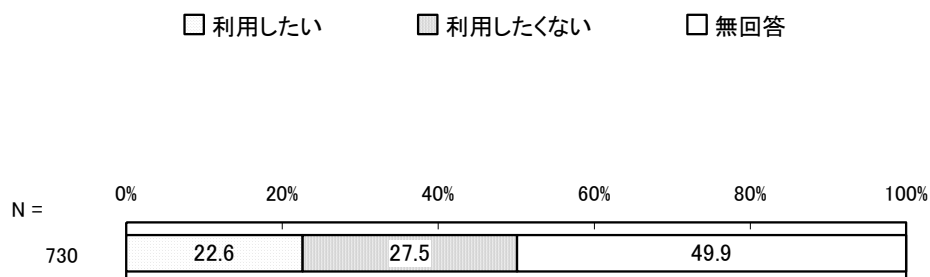
【現在利用しているか】

「利用していない」の割合が57.5%となっています。



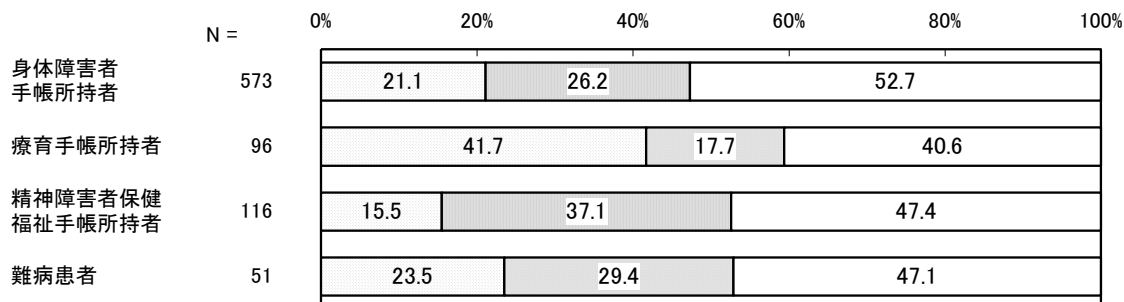
【今後利用したいか】

「利用したくない」の割合が27.5%、「利用したい」の割合が22.6%となっています。



【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「利用したい」が高く、約4割となっています。また、精神障害者保健福祉手帳所持者で「利用したくない」が高く、4割近くとなっています。



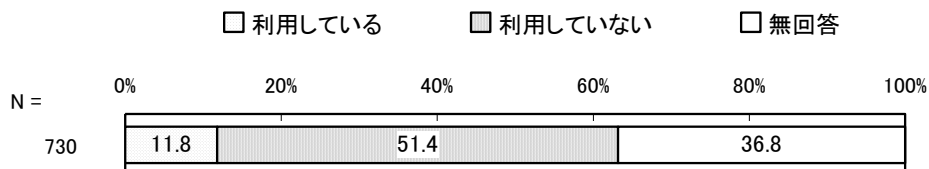
《相談支援》

⑭ 相談支援

福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言などを行うサービスです。

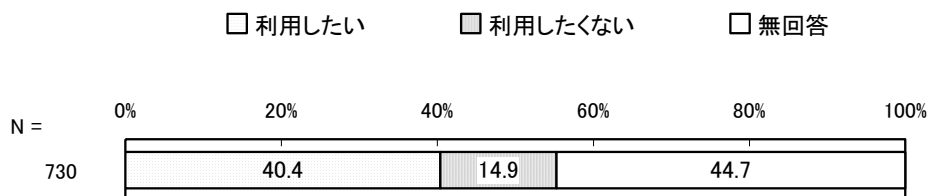
【現在利用しているか】

「利用していない」の割合が51.4%となっています。



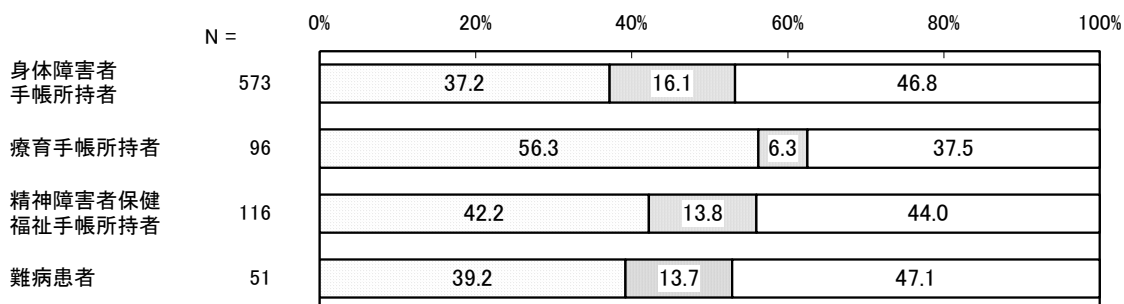
【今後利用したいか】

「利用したい」の割合が40.4%、「利用したくない」の割合が14.9%となっています。



【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「利用したい」が高く、5割半ばとなっています。



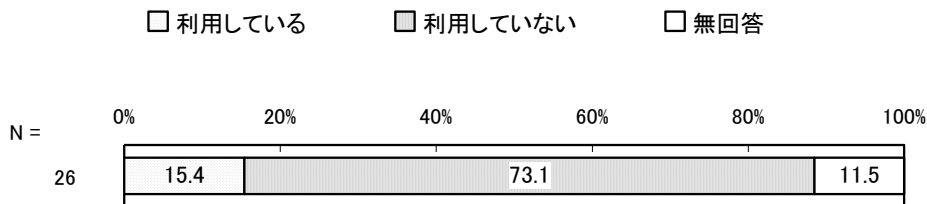
《障がい児サービス》

⑮ 児童発達支援

日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービスです。

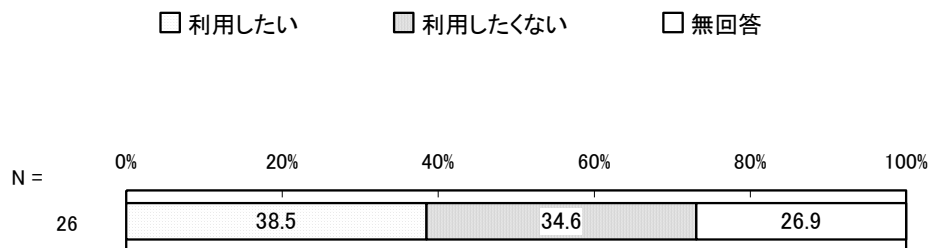
【現在利用しているか】

「利用していない」の割合が73.1%となっています。



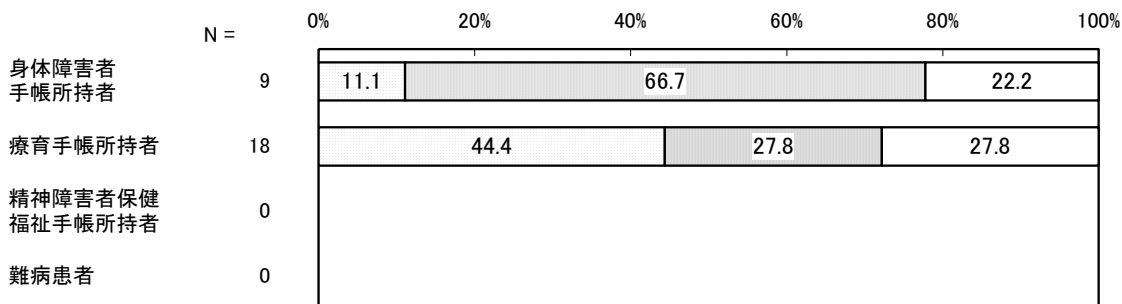
【今後利用したいか】

「利用したい」の割合が38.5%、「利用したくない」の割合が34.6%となっています。



【障がい別】

障がい別でみると、身体障害者手帳所持者で「利用したくない」が6割半ばとなっています。また、療育手帳所持者で「利用したい」が4割半ばとなっています。

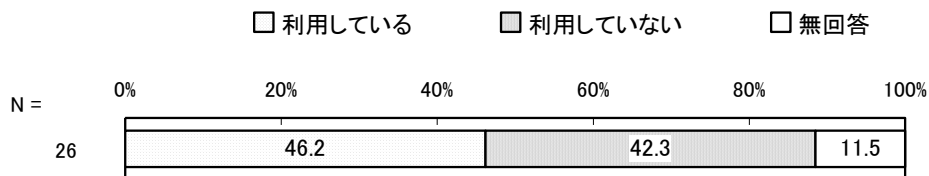


⑩ 放課後等デイサービス

学校の授業終了後や学校の休校日に、児童発達支援センター等の施設に通い、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を行うサービスです。

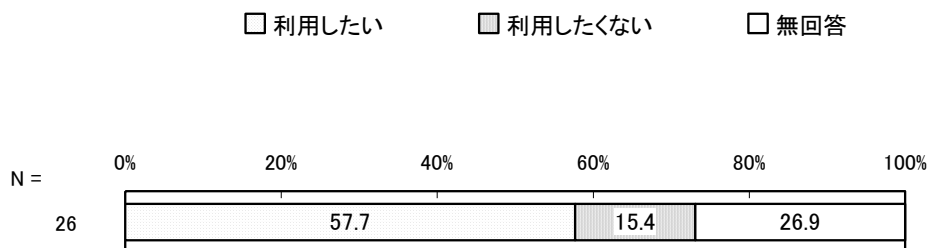
【現在利用しているか】

「利用していない」の割合が42.3%となっています。



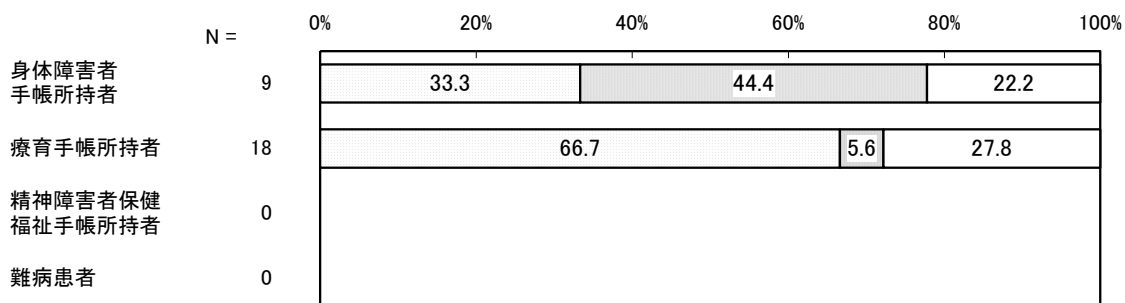
【今後利用したいか】

「利用したい」の割合が57.7%、「利用したくない」の割合が15.4%となっています。



【障がい別】

障がい別でみると、身体障害者手帳所持者で「利用したくない」が4割半ばとなっています。また、療育手帳所持者で「利用したい」が6割半ばとなっています。

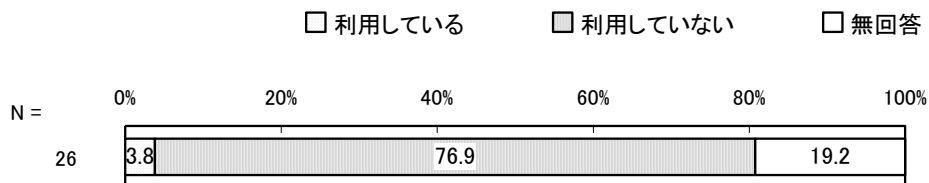


⑰ 保育所等訪問支援

保育所等を訪問し、障がい児に対して、障がい児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行うサービスです。

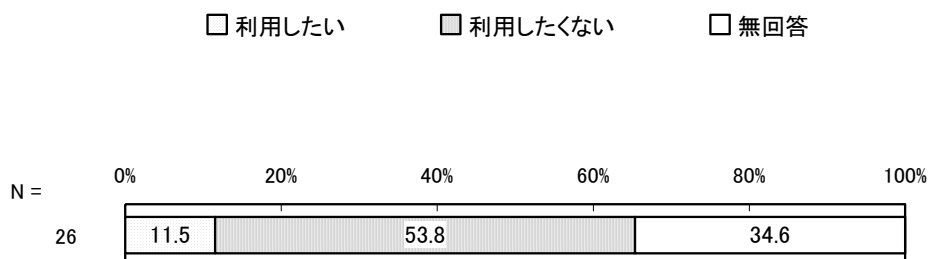
【現在利用しているか】

「利用していない」の割合が76.9%となっています。



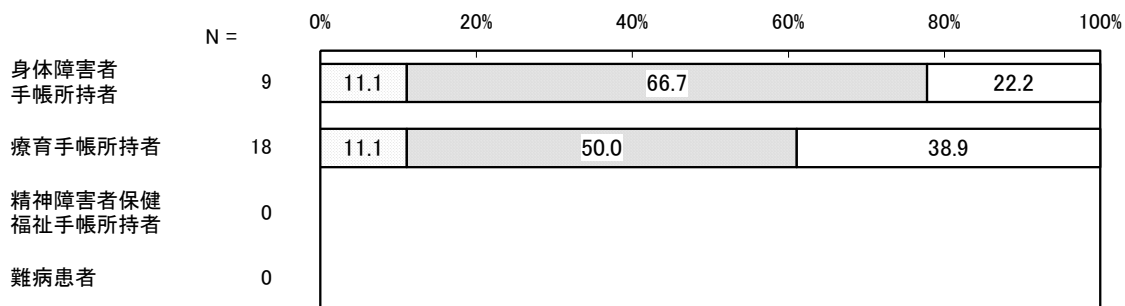
【今後利用したいか】

「利用したくない」の割合が53.8%、「利用したい」の割合が11.5%となっています。



【障がい別】

障がい別でみると、身体障害者手帳所持者と療育手帳所持者で「利用したい」が約1割となっています。

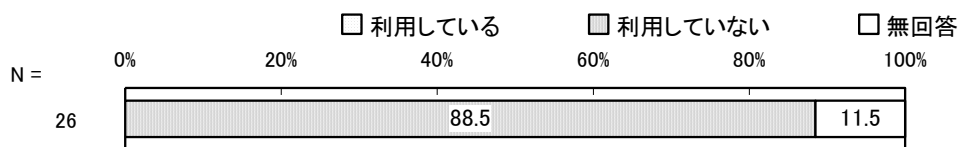


⑩ 医療型児童発達支援

日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援と治療を行うサービスです。

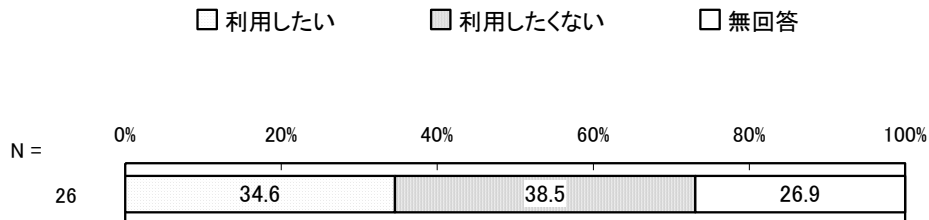
【現在利用しているか】

「利用している」人はいませんでした。



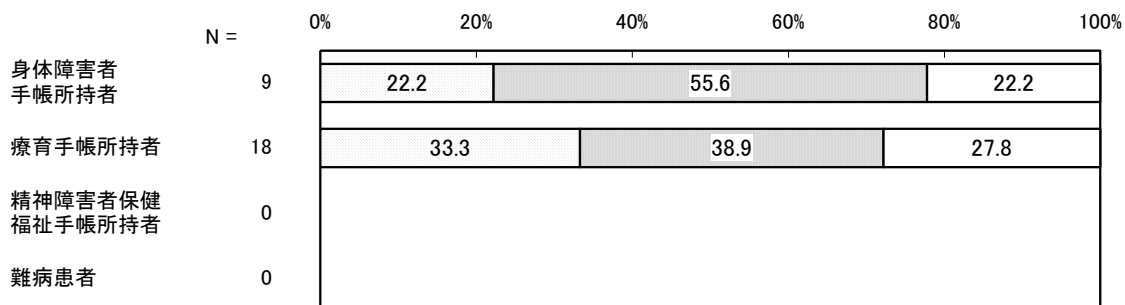
【今後利用したいか】

「利用したくない」の割合が38.5%、「利用したい」の割合が34.6%となっています。



【障がい別】

障がい別でみると、身体障害者手帳所持者で「利用したくない」が5割半ばとなっています。また、療育手帳所持者で「利用したい」が3割を超えています。

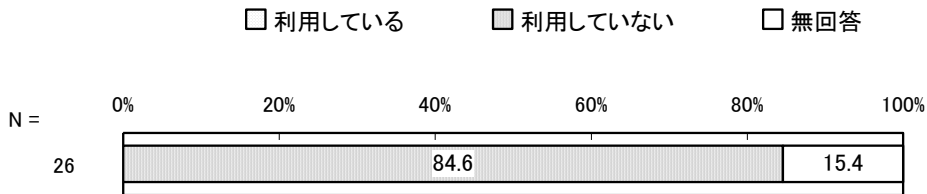


⑱ 福祉型児童入所支援

障がい児入所施設に入所する障がい児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の付与を行うサービスです。

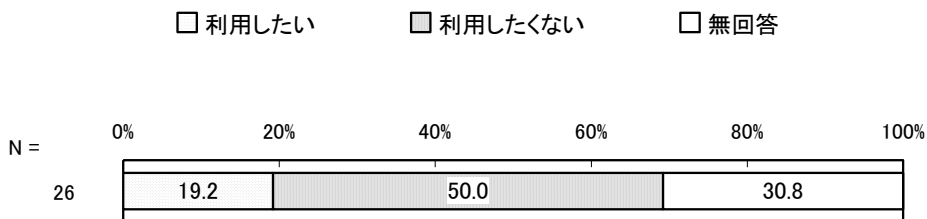
【現在利用しているか】

「利用している」人はいませんでした。



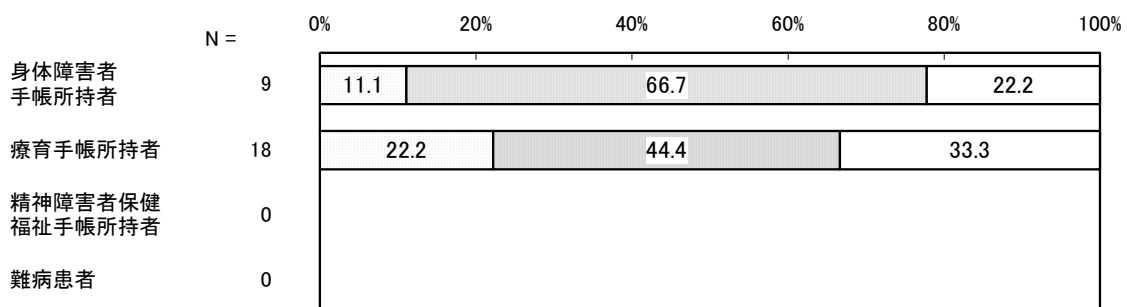
【今後利用したいか】

「利用したくない」の割合が 50.0%、「利用したい」の割合が 19.2%となっています。



【障がい別】

障がい別でみると、身体障害者手帳所持者で「利用したくない」が6割半ばとなっています。また、療育手帳所持者で「利用したい」が2割を超えています。

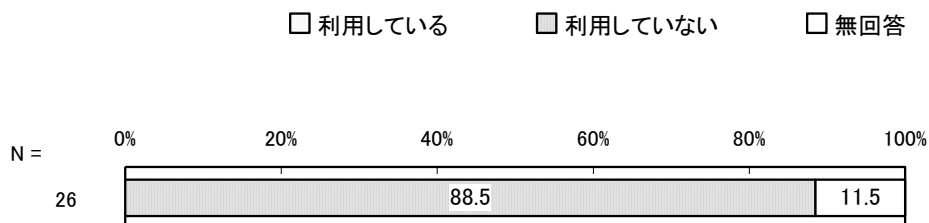


⑳ 医療型児童入所支援

障がい児入所施設や指定医療機関に入所等をする障がい児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の付与や治療を行うサービスです。

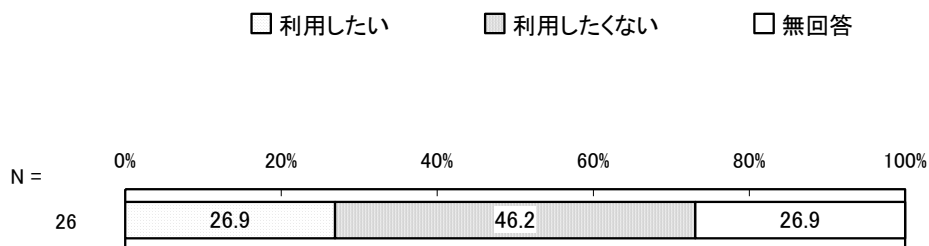
【現在利用しているか】

「利用している」人はいませんでした。



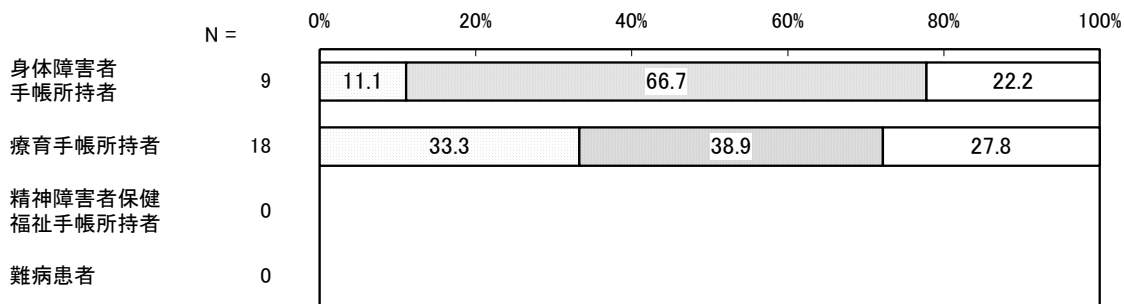
【今後利用したいか】

「利用したくない」の割合が 46.2%、「利用したい」の割合が 26.9%となっています。



【障がい別】

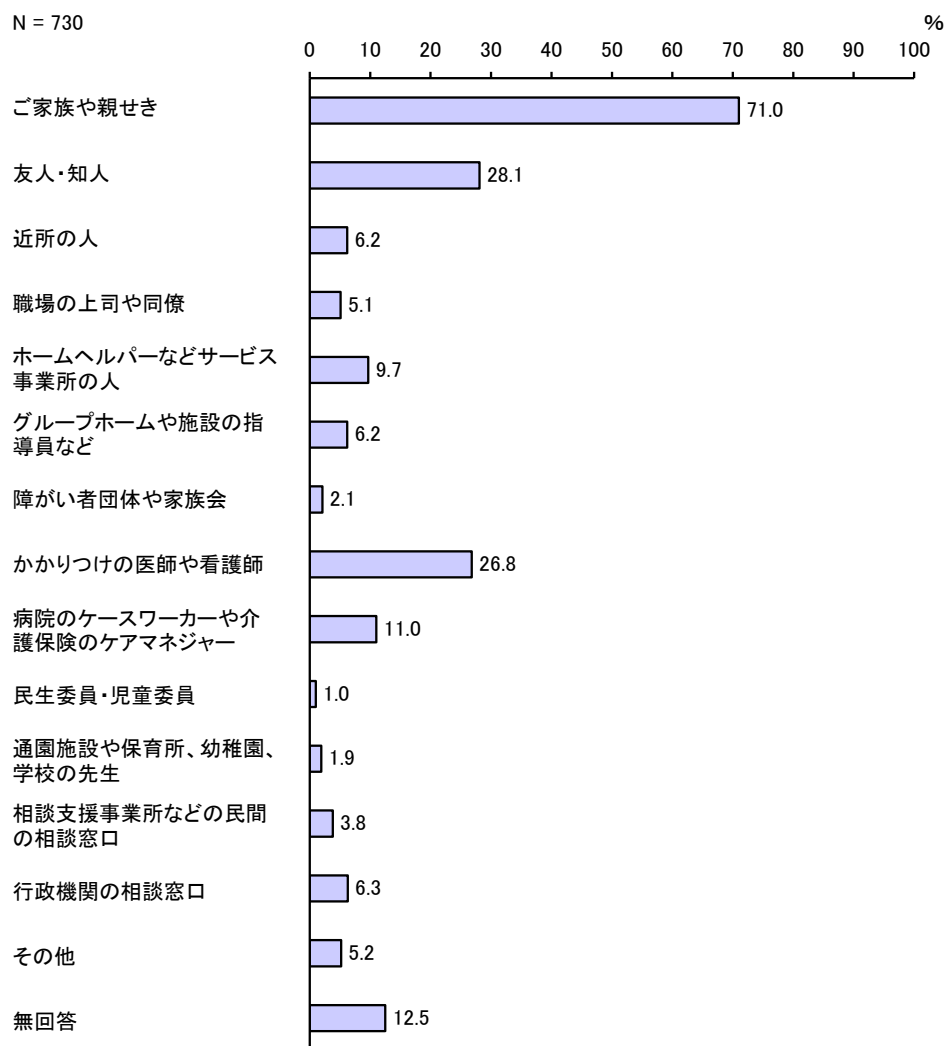
障がい別でみると、身体障害者手帳所持者で「利用したくない」が6割半ばとなっています。また、療育手帳所持者で「利用したい」が3割を超えています。



(6) 相談相手についてお聞きします。

問 34 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

「ご家族や親せき」の割合が71.0%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が28.1%、「かかりつけの医師や看護師」の割合が26.8%となっています。



【障がい別】

障がい別でみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者と療育手帳所持者で「ご家族や親せき」が、療育手帳所持者で「ホームヘルパーなどサービス事業所の人」、「相談支援事業所などの民間の相談窓口」が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「かかりつけの医師や看護師」が高くなっています。また、療育手帳所持者で「通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生」の割合が約1割となっています。

単位：％

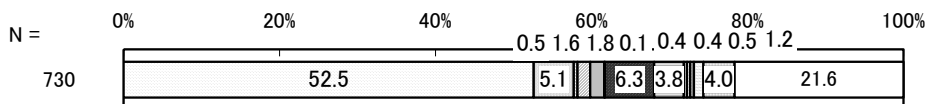
区分	有効回答数 (件)	ご家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	グループホームや施設の指導員など	障がい者団体や家族会
身体障害者手帳所持者	573	71.6	28.4	6.8	4.4	8.9	5.6	1.4
療育手帳所持者	96	70.8	22.9	4.2	9.4	19.8	12.5	8.3
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	57.8	25.0	1.7	3.4	5.2	7.8	3.4
難病患者	51	64.7	21.6	3.9	5.9	7.8	5.9	2.0

区分	かかりつけの医師や看護師	病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	民生委員・児童委員	通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	相談支援事業所などの民間の相談窓口	行政機関の相談窓口	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	26.5	11.5	0.9	0.3	2.1	6.3	4.2	12.9
療育手帳所持者	22.9	3.1	3.1	11.5	12.5	7.3	7.3	14.6
精神障害者保健福祉手帳所持者	37.1	13.8	—	—	6.9	9.5	6.9	12.9
難病患者	29.4	13.7	—	—	—	3.9	7.8	13.7

【上記のうち最も多く相談されるものの番号を記入して下さい】

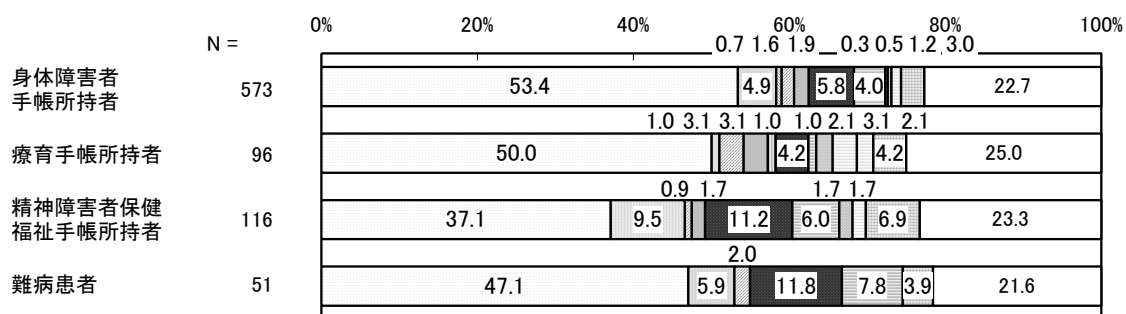
「ご家族や親せき」の割合が52.5%と最も高くなっています。

- 1 ご家族や親せき
- 2 友人・知人
- 3 近所の人
- 4 職場の上司や同僚
- 5 ホームヘルパーなどサービス事業所の人
- 6 グループホームや施設の指導員など
- 7 障がい者団体や家族会
- 8 かかりつけの医師や看護師
- 9 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー
- 10 民生委員・児童委員
- 11 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生
- 12 相談支援事業所などの民間の相談窓口
- 13 行政機関の相談窓口
- 14 その他
- 15 無回答



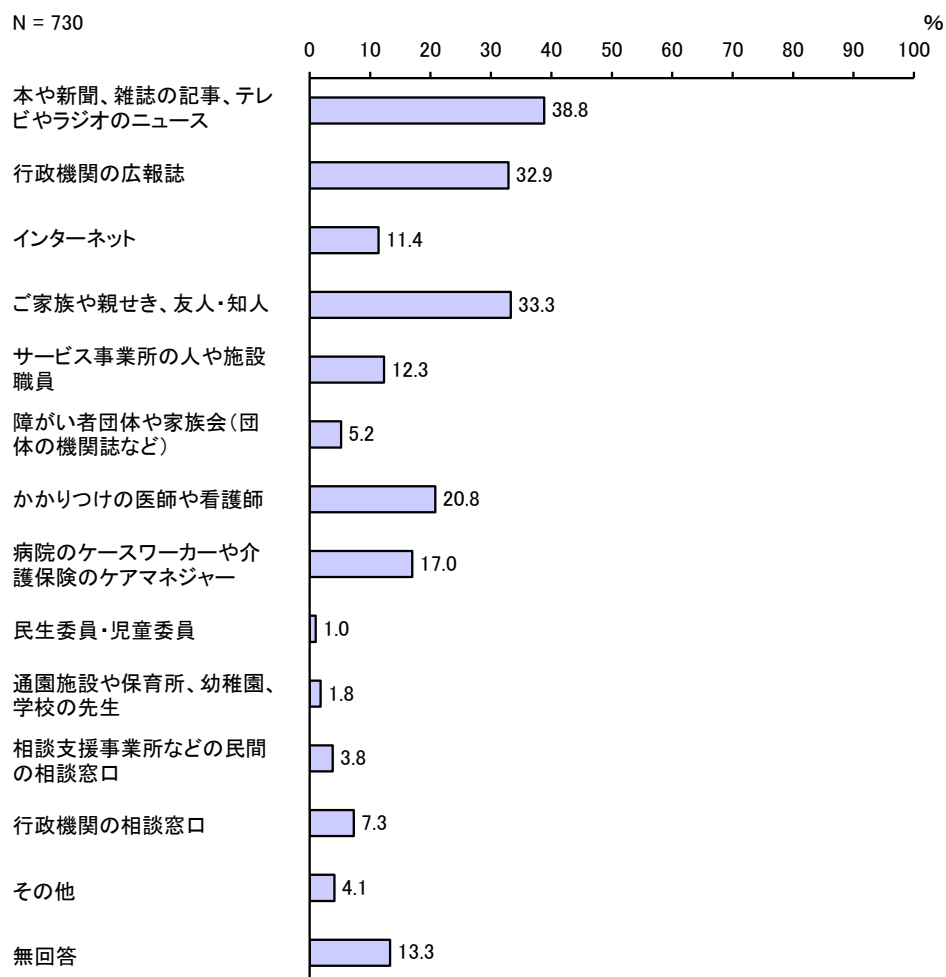
【障がい別】

障がい別でみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者で「友人・知人」が高く、約1割となっています。



問 35 あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「ご家族や親せき、友人・知人」の割合が 33.3%、「行政機関の広報誌」の割合が 32.9%となっています。



【障がい別】

障がい別でみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が、身体障害者手帳所持者と難病患者で「行政機関の広報誌」が、療育手帳所持者で「ご家族や親せき、友人・知人」、「サービス事業所の人や施設職員」、「障がい者団体や家族会（団体の機関誌など）」、「相談支援事業所などの民間の相談窓口」が、難病患者で「かかりつけの医師や看護師」が高くなっています。また、療育手帳所持者で「通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生」の割合が約1割となっています。

単位：%

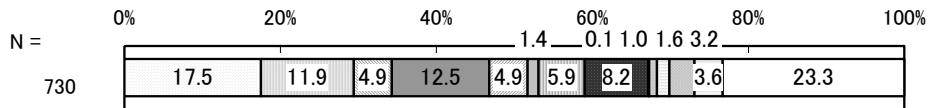
区分	有効回答数 (件)	本や新聞、雑誌の記 事、テレビやラジオ のニュース	行政機関の広報誌	インターネット	ご家族や親せき、友 人・知人	サービス事業所 の人や施設職員	障がい者団体や家 族会(団体の機関誌 など)	かかりつけの医師 や看護師
身体障害者 手帳所持者	573	41.4	34.4	9.4	32.5	9.6	3.8	21.6
療育手帳所持者	96	25.0	18.8	10.4	40.6	32.3	14.6	14.6
精神障害者保健 福祉手帳所持者	116	30.2	21.6	15.5	21.6	7.8	5.2	25.9
難病患者	51	37.3	31.4	13.7	25.5	7.8	2.0	35.3

区分	病院のケースワ ーカーや介護保険の ケアマネジャー	民生委員・児童委員	通園施設や保育所、 幼稚園、学校の先生	相談支援事業所な どの民間の相談窓 口	行政機関の相談窓 口	その他	無回答
身体障害者 手帳所持者	17.6	0.9	0.3	2.1	7.3	4.0	14.0
療育手帳所持者	3.1	3.1	9.4	13.5	8.3	5.2	14.6
精神障害者保健 福祉手帳所持者	25.0	0.9	-	6.9	8.6	4.3	12.9
難病患者	21.6	-	-	-	7.8	5.9	13.7

【上記のうち最も多いものの番号を記入して下さい】

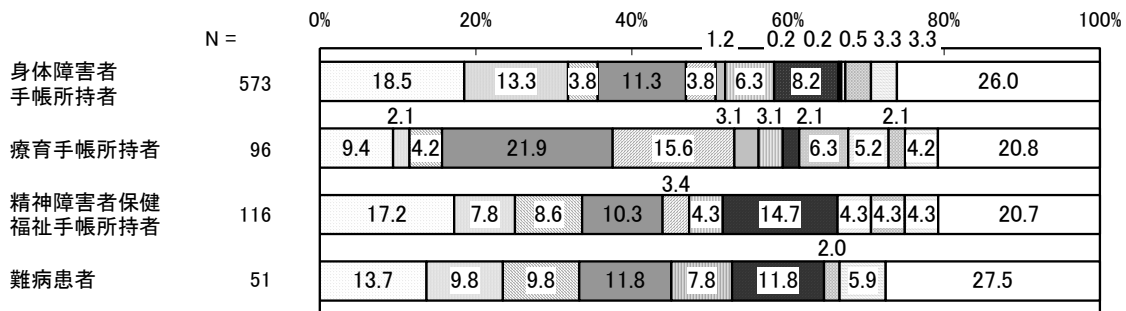
「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」の割合が17.5%と最も高く、次いで「ご家族や親せき、友人・知人」の割合が12.5%、「行政機関の広報誌」の割合が11.9%となっています。

- 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース
- 行政機関の広報誌
- インターネット
- ご家族や親せき、友人・知人
- サービス事業所の人や施設職員
- 障がい者団体や家族会(団体の機関誌など)
- かかりつけの医師や看護師
- 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー
- 民生委員・児童委員
- 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生
- 相談支援事業所などの民間の相談窓口
- 行政機関の相談窓口
- その他
- 無回答



【障がい別】

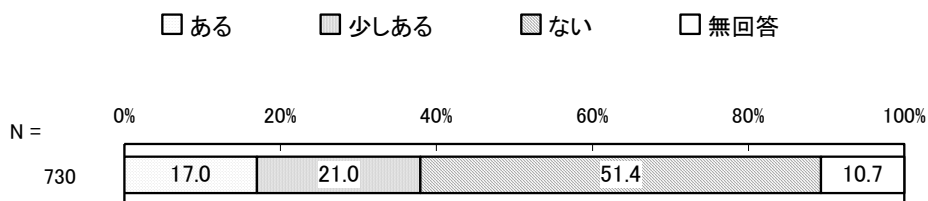
障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「ご家族や親せき、友人・知人」、「サービス事業所の人や施設職員」が高くなっています。



(7) 権利擁護についてお聞きします。

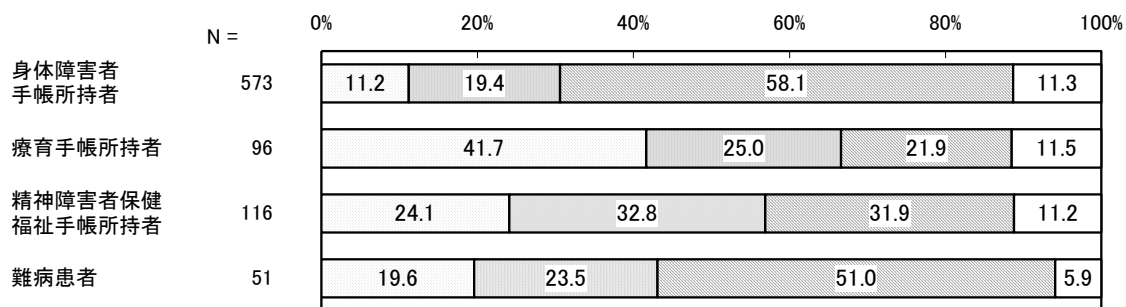
問 36 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。
 (○は1つだけ)

「ない」の割合が51.4%と最も高く、次いで「少しある」の割合が21.0%、「ある」の割合が17.0%となっています。



【障がい別】

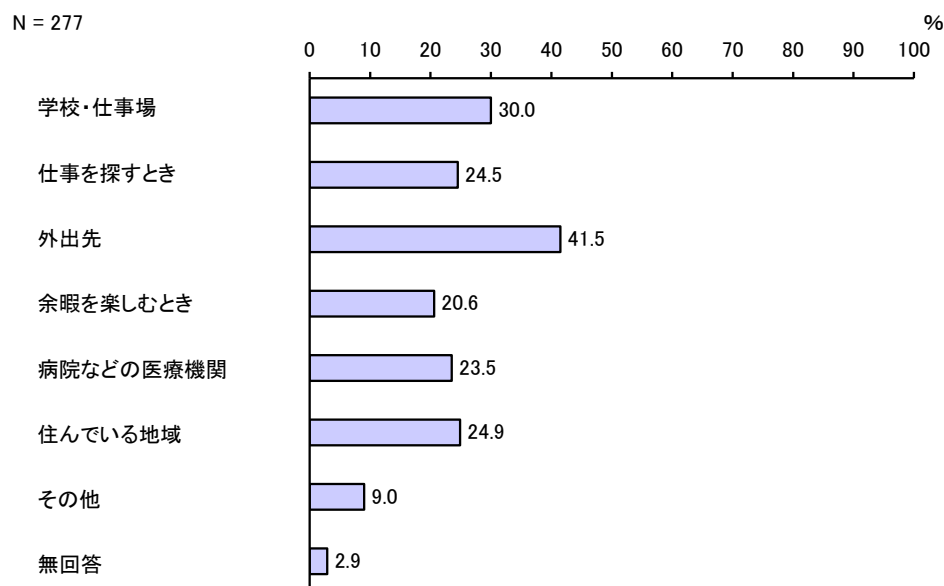
障がい別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「ない」が、療育手帳所持者で「ある」が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「少しある」が高くなっています。



【問 36 で、「ある」又は「少しある」と回答された方にお聞きします。】

問 37 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

「外出先」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「学校・仕事場」の割合が 30.0%、「住んでいる地域」の割合が 24.9%となっています。



【障がい別】

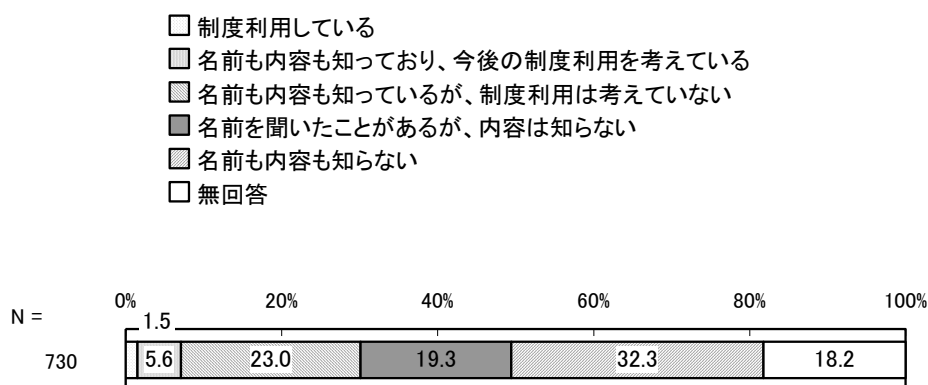
障がい別でみると、他に比べ、療育手帳所持者で「学校・仕事場」、「外出先」、「住んでいる地域」が、精神障害者保健福祉手帳所持者で「仕事を探するとき」が、難病患者で「病院などの医療機関」が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	学校・仕事場	仕事を探するとき	外出先	余暇を楽しむとき	病院などの医療機関	住んでいる地域	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	175	24.0	18.9	38.9	20.0	21.7	20.0	7.4	4.0
療育手帳所持者	64	39.1	17.2	56.3	21.9	26.6	39.1	7.8	—
精神障害者保健福祉手帳所持者	66	25.8	47.0	31.8	15.2	21.2	24.2	12.1	3.0
難病患者	22	18.2	36.4	36.4	18.2	40.9	9.1	4.5	—

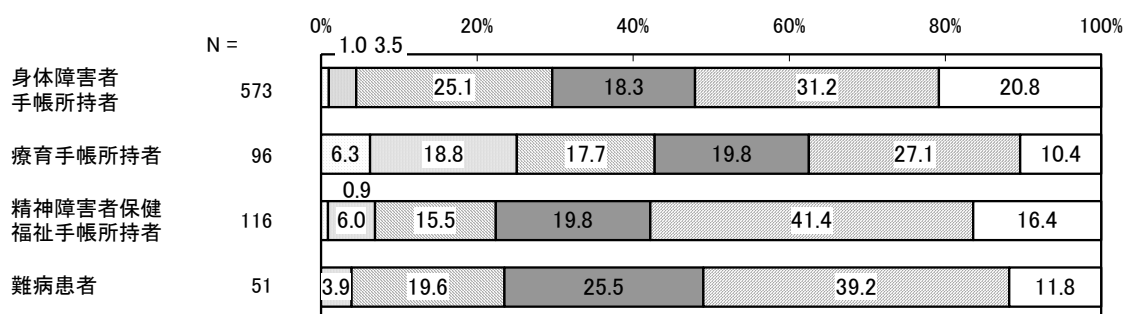
問 38 成年後見制度についてご存じですか。(○は1つだけ)

「名前も内容も知らない」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「名前も内容も知っているが、制度利用は考えていない」の割合が 23.0%、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」の割合が 19.3%となっています。



【障がい別】

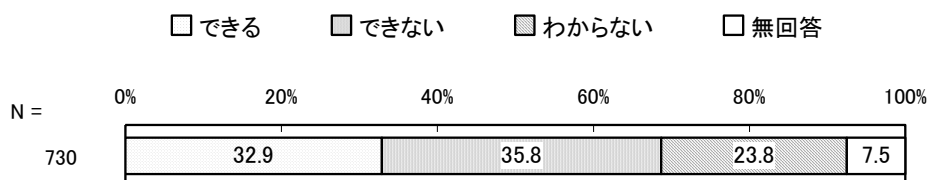
障がい別でみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「名前も内容も知っているが、制度利用は考えていない」が、療育手帳所持者で「名前も内容も知っており、今後の制度利用を考えている」が、療育手帳所持者と難病患者で「名前も内容も知らない」が、難病患者で「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が高くなっています。



(8) 災害時の避難等についてお聞きします。

問 39 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

「できない」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「できる」の割合が 32.9%、「わからない」の割合が 23.8%となっています。



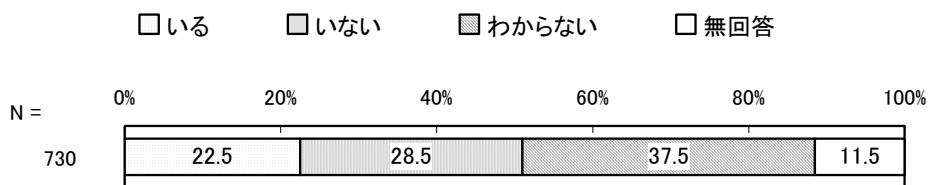
【障がい別】

障がい別でみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「できる」が高く、3割半ばとなっています。また、療育手帳所持者で「できない」が高く、6割を超えています。



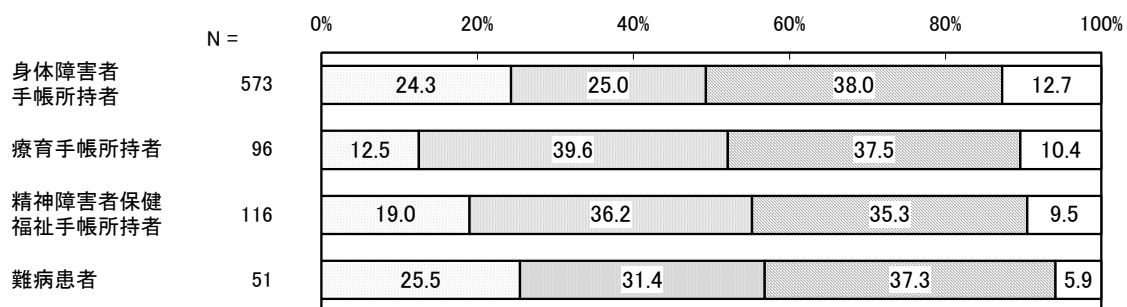
問 40 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(○は1つだけ)

「わからない」の割合が37.5%と最も高く、次いで「いない」の割合が28.5%、「いる」の割合が22.5%となっています。



【障がい別】

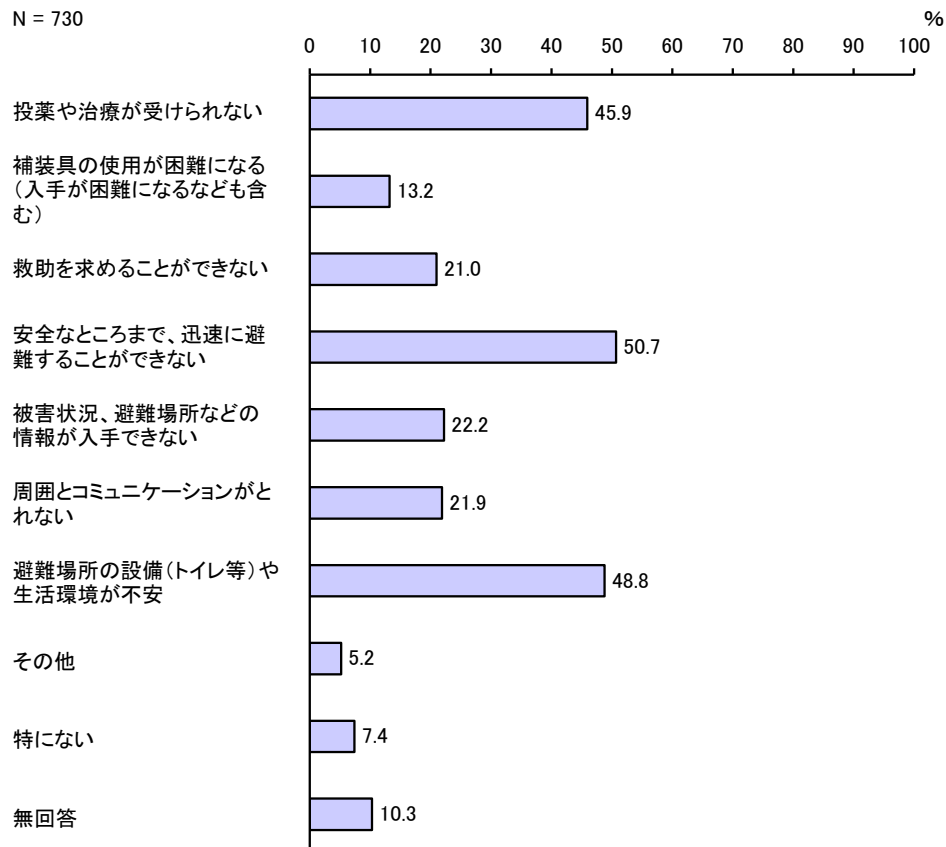
障がい別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳所持者と難病患者で「いる」が高くなっています。



問 41 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「安全なところまで、迅速に避難することができない」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」の割合が 48.8%、「投薬や治療が受けられない」の割合が 45.9%となっています。

N = 730



【障がい別】

障がい別でみると、他に比べ、療育手帳所持者で「救助を求めることができない」、「被害状況、避難場所などの情報が入手できない」、「周囲とコミュニケーションがとれない」が、療育手帳所持者と難病患者で「安全なところまで、迅速に避難することができない」、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が、精神障害者保健福祉手帳所持者と難病患者で「投薬や治療が受けられない」が高くなっています。

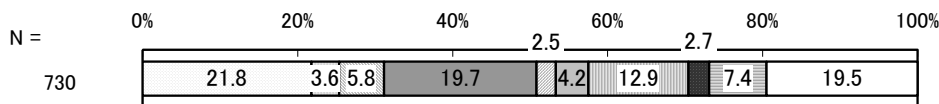
単位：％

区分	有効回答数（件）	投薬や治療が受けられない	補装具の使用が困難になる（入手が困難になるなども含む）	救助を求めることができない	安全なところまで、迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	周囲とコミュニケーションがとれない	避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	その他	特になし	無回答
身体障害者手帳所持者	573	45.2	14.3	18.0	50.6	17.6	14.5	47.1	4.9	8.0	11.2
療育手帳所持者	96	38.5	13.5	50.0	67.7	53.1	55.2	60.4	7.3	5.2	5.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	116	54.3	5.2	23.3	44.0	22.4	35.3	44.8	7.8	7.8	9.5
難病患者	51	58.8	17.6	25.5	62.7	19.6	21.6	56.9	5.9	2.0	5.9

【上記のうち最も困るものの番号を記入して下さい】

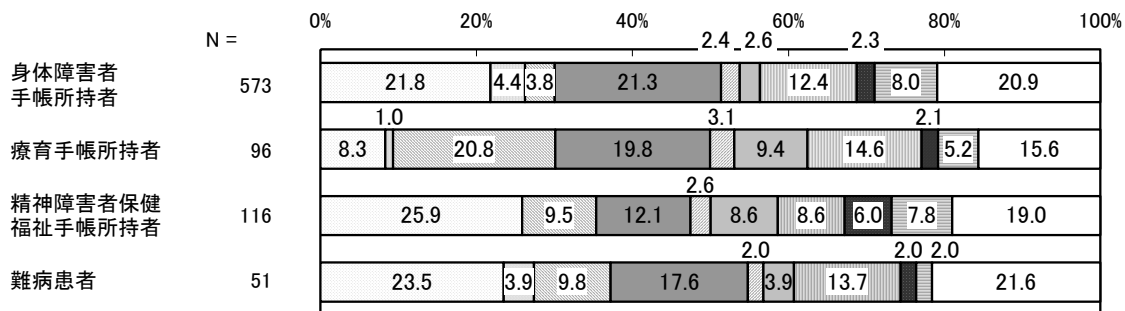
「投薬や治療が受けられない」の割合が21.8%と最も高く、次いで「安全なところまで、迅速に避難することができない」の割合が19.7%、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」の割合が12.9%となっています。

- 投薬や治療が受けられない
- 補装具の使用が困難になる(入手が困難になるなども含む)
- 救助を求めることができない
- 安全なところまで、迅速に避難することができない
- 被害状況、避難場所などの情報が入手できない
- 周囲とコミュニケーションがとれない
- 避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安
- その他
- 特にない
- 無回答



【障がい別】

障がい別で見ると、他に比べ、療育手帳所持者で「救助を求めることができない」が高く、約2割となっています。



Ⅲ 団体及び事業者ヒアリングの結果

1 当事者団体ヒアリングの主な結果について

○障がいのある人に対する理解についてお聞きします。

①障がい者を取り巻く地域社会のあり方について、ご意見があればお書きください。

- ・ 本人も親も高齢になっていくとグループホーム等の必要性が大きくなっていく。資金面等いろいろな問題で既存の住宅を利用したい時、近所の理解は得られるのか、快く迎え入れてくれるよう社会が整っている必要がある。

○福祉サービスについてお聞きします。

①福祉サービス（在宅サービスや施設サービス）の利用にあたっての困り事やご意見があればお書きください。

- ・ 緊急一時で預けるところがなく、困った時があった。

②相談支援（専門的な相談、ピアカウンセリング、権利擁護など）における困り事やご意見があればお書きください。

- ・ 個々の対応に話し合える相談窓口が必要である。
- ・ 市役所や障がい者基幹相談支援センター等に聴覚障がい者に対する理解のある職員をおき、気軽に相談できる環境を整えてほしい。

○その他津島市の福祉施策に関する要望があればお書きください。

- ・ 施設福祉から地域福祉へと少しずつ移行していますが、福祉の受け皿は不足していると思われます。

2 事業所ヒアリングの主な結果について

○提供サービスについてお聞きします。

①新たなサービスの実施意向があればお書きください。また、新規事業を展開していく上での問題点や課題があればお書きください。

- ・ 障がいの重い方が日中に過ごす場所が少ないため、今後、生活介護事業所を新たに立ち上げることを検討中（平成 29～30 年度を目途に）
- ・ 近隣市町（未定）へ、同規模事業所出店予定。児童発達管理責任者の採用が難しい。一宮特別支援学校や名古屋市特別支援学校への送迎距離（1 年生や重症心身障がい児はバス利用できないため）
- ・ 津島市において、重度の障がいの方を受け入れる生活介護事業所が少ない。近隣の市町村でも同様。

②津島市において不足していると思われるサービスはありますか。

- ・ 日中一時支援事業。ヘルパー事業所。（行動援護）←可動していないところが多い。
- ・ 高校卒業後の場。就労継続支援（A・B）生活介護。共同生活援助。余暇支援の場。
- ・ グループホーム、短期入所、生活介護の数が圧倒的に少ない。
- ・ 就労継続支援A型、就労移行支援事業所があるとよい。
- ・ 夜間のホームヘルパーや外出支援など。
- ・ 就労系事業所の送迎対応がない。精神、知的、身体障がい者のグループホームが足りない。入浴できる生活介護事業所がない。医療行為を伴う利用者の送迎対応ができない。身体、知的、精神などの重複障がい者の受け入れをしている入所施設が少ない。あっても入所待ちが多く、いつ受け入れできるのかわからない。精神の症状によっては受け入れを断られる。自立を目指して訓練する住居系施設がない。児童発達支援・放課後等デイの事業所はあるが、利用の偏りがある。全く空きのない事業所もあれば終日空きがある事業所もある。自立訓練の事業所がない。高次脳機能障がいのある方の支援に特化した事業所はない。重度障がい者等包括支援の事業所がない。

○地域移行、一般就労移行についてお聞きします。

①利用者が一般就労へ移行する際の問題点はなんだと思いますか。

- ・ 就職先、受入先がない。受入後のサポート、継続していく支援が少ない、定期的にフォローがあってもその間隔が長い。
- ・ 障がい特性を知らず世間の人たちと同じ関わりを求めた時、どうしてもトラブルになりやすい。そこを橋渡ししてくれるジョブコーチが必要となってくる。しかし、ジョブコーチが少なく、自力で就労しても継続できず、転職を繰り返す。職がなく、本人に高い能力があっても福祉就労になってしまう点。
- ・ アフターフォローや振り返りをするなどの定着支援の強化も必要。市内に就労A型事業所が開設されることも必要。
- ・ 交通手段。企業の受け入れ体制。送り出す側（福祉サービス従事者）の意識及びスキル不足、経験値を上げられない事業所内環境。

- ・ 家族の理解がない。就労継続支援A型がないので、次の進める手順がない。
- ・ 制度の隙間を補う必要があります。具体的にはA型の暫定支給を行うこと等。
- ・ 障がい者本人を出している企業がまだまだ少ない。
- ・ バックアップ施設と海部障がい者就業・生活支援センターの連携。受入企業側の障がい者への理解。

○その他

① 他の団体との連携状況と今後の課題についてお書きください。

- ・ 相談支援事業所、学校、保護者と個別支援会議を開いたりする。同じ障がい児サービスの事業所同士の交流が少ない。違う事業所に研修に行くなどしていけるとよい。
- ・ 特別支援学級や養護学校と連携強化したい。
- ・ 特別支援学級からの定期的な実習の受け入れ。海部障がい者就業・生活支援センターとの求職、定着支援。
- ・ 総合支援協議会を中心に津島市の障がい者支援を考えていくこと。
- ・ 福祉サービス事業との連携に努めている状況であり、医療及び教育関係との関わりが少ない。

②障がい者を取り巻く地域社会のあり方について、ご意見があればお書きください。

- ・ 当事者、家族のニーズをくみ上げる。
- ・ 障がい者の方が安心して住める（必要なサービスを安心して使える等）地域作りを行政、民間が一つになってつくっていく。
- ・ 障がい者が地域で生活し、通所で施設を利用、または就労できる環境をつくるためには、グループホームの充実が望まれる。
- ・ ニーズを拾うことができず、誰にも相談ができなかったり、障がいに対する偏見があり、手帳の取得でサービス導入に拒否を示すケースも多い。ニーズをより拾いやすい体制作りを地域で考えられるようになればよいと思います。

③その他津島市の福祉施策に関する要望があればお書きください。

- ・ 福祉従事者のみでなく、市住民が一体となって取り組める施策。
- ・ 地域生活支援事業について、自治体間格差を解消してほしい。障がい支援区分判定について、障がい者の実態、特性に即したものとなるよう配慮してほしい。多様なニーズに適応した福祉施設の整備や運営について財政措置の充実を図ってほしい。
- ・ 児童についてサービス提供ができないケースが多い。そのための条件面で緩和ができればと思います。また、利用できる事業所が少ないため、もっと多くの事業所が市内に立ち上げられるような施策があればと思います。